

Japan Endovascular Treatment Conference 2023

2023 JET

Diversity & Inclusion

May 26(Fri)-28(Sun), 2023
Akasaka Intercity Air 3-4F, Tokyo

President

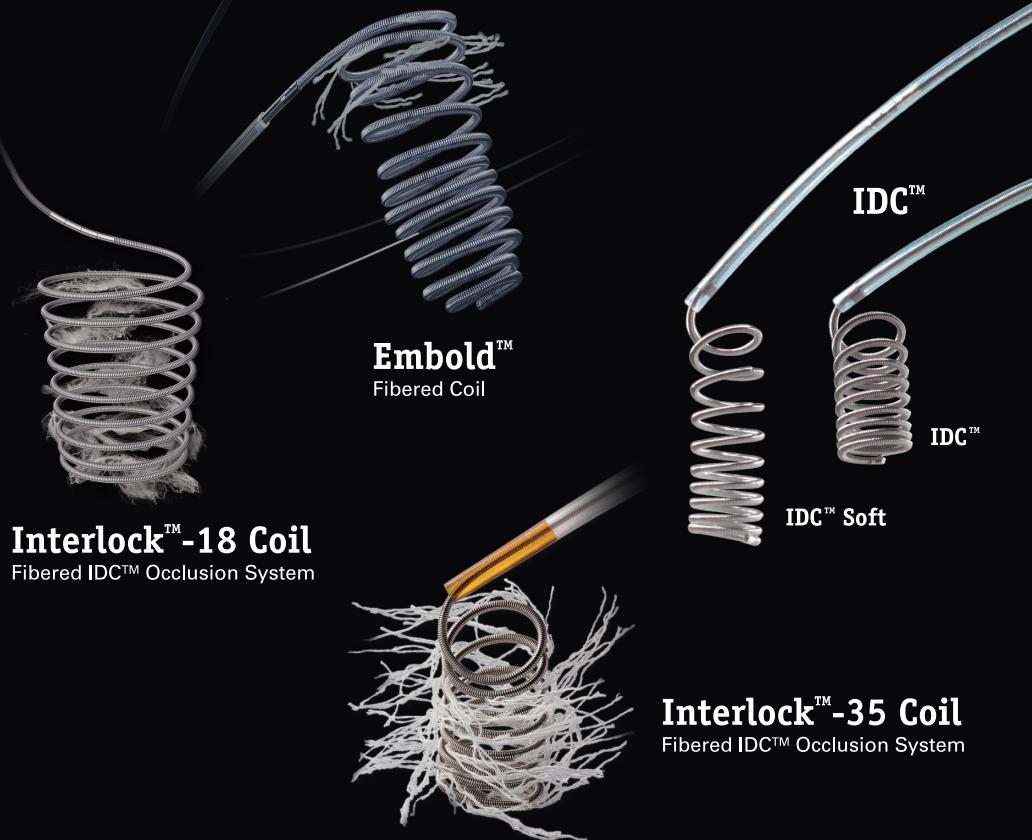
Masato Nakamura (Toho University Ohashi Medical Center)

Executive Committee

Makoto Utsunomiya (TOWN Homecare Clinic)
Tatsuya Nakama (Tokyo Bay Medical Center)
Kenji Suzuki (Tokyo Saiseikai Central Hospital)

PROGRAM

“Right Device in Right Place”



販売名: EMBOLDコイル
医療機器承認番号: 30400BZX00284000
販売名: プラチナコイル バスキュラー オクルージョン システム
医療機器承認番号: 21000BZY00328000

販売名: Interlock-35 コイル
医療機器承認番号: 22600BZX00207000
販売名: Fibered IDC コイル
医療機器承認番号: 22100BZX01103000

会長挨拶

JET2023開催にあたって

Japan Endovascular Treatment Conference (JET) 2023の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

大雪の中大会長として迎えたJET2014から早いもので9年が経過しました。この間、情報発信の場としてJETの方向性、姿勢は明確となり、本邦を代表するEVTのカンファレンスとして成長しました。記憶を辿ると9年前はJETを維持することが大きな目標であり、今日は予想していませんでした。改めて、多くの関係者の方にこれまでのご指導、サポートを感謝申し上げます。

さて、JET2023のメインテーマは“Diversity and inclusion”としました。JETにおけるダイバーシティとは、さまざまな価値観、バックグラウンドを持つ医療従事者であり、同時に議論することで新たな価値を創造・提供することが、JETがさらに成長する力になると考えたからです。

多様性を認めないところには、進歩はないと考えています。何故なら、実臨床は多様であるからです。エビデンスの集大成であるガイドラインは標準的な治療指針を示すものとして重要ですが、大規模比較検討試験に登録される症例は、実臨床では3割程度に限られることが知られています。すなわち、残りの7割における有効性、安全性は不確実であり、不確実性が高い医療が実臨床です。だから、今日の医療は、「最善の根拠」に加え、「臨床家の専門性(熟練、技能など)」、「患者の希望・価値観」、「(個々の)臨床の状況」が考慮されshared decision makingが必要とされているのです。様々な治療戦略が可能となり、黎明期を終え成長期から成熟期に向かっているEVTであるからこそ、さまざまな価値観を提供、創造することが重要であり、その醍醐味をJET2023で体感していただきたいと考えています。

9年前の新宿のヒルトン東京から赤阪インターナショナルコンフォレンスに場所を変え、2023年5月26日(金)～28日(日)に開催します。東京の中心の快適な空間に皆様をお招きしたいと考えています。会場で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

東邦大学医療センター大橋病院

中村 正人

Greetings from the President

As President of the Japan Endovascular Treatment Conference (JET) 2023, I would like to take this opportunity to extend my greetings.

It has already been 9 years since I welcomed everyone as the President to JET 2014, which was held on a very snowy day. Since then, our regular conferences have clearly established JET as a place for disseminating information, and JET has grown to become the representative conference on EVT in Japan. If I recall, 9 years ago, our main goal was to sustain JET as a conference, and at that time, I never could have dreamed that one day we would be organizing JET 2023. Once again, I would like to express my gratitude to the many people involved for their guidance and support.

The main theme of JET 2023 is “Diversity and inclusion.” At JET, diversity is represented by healthcare professionals who have many different values and backgrounds, and the present theme is based on the idea that creating and providing new values through discussions will help JET grow even further.

Because real-world clinical practice is diverse, we believe that progress cannot happen without acknowledging diversity. Guidelines are the accumulation of evidence and are important tools to provide healthcare professionals with standard therapeutic approaches. However, participants included in large-scale controlled trials are known to account for only about 30% of all patients actually encountered in clinical practice. In other words, the efficacy and safety of treatments investigated in clinical studies are uncertain in 70% of patients, and in this sense, real-world clinical practice includes aspects of uncertain medical care. Therefore, today's medical practice requires shared decision-making based on clinician expertise (e.g., skills, techniques), patient wishes and values, and (individual) clinical situations, as well as the best evidence. Now that various treatment strategies are available, EVT is about to enter the period of maturity, having progressed from its initial period of growth after its early days. Thus, it is all the more important to create and provide various values related to EVT. I hope that you will experience this wonderful moment at JET 2023.

The conference will be held from May 26 (Friday) through 28 (Sunday), 2023, at a new location, the Akasaka Intercity Conference Center, instead of the Hilton Tokyo Hotel in Shinjuku, where JET 2014 was held 9 years ago. I would like to invite you to join us in this comfortable space in the center of Tokyo, and I look forward to seeing you all there at JET 2023.

President, JET 2023
Masato Nakamura, MD, PhD
Toho University Ohashi Medical Center

実行委員長挨拶

全ては JET から、そして再び JET へ

この度、JET2023の実行委員長を拝命しました、東京ベイ・浦安市川医療センターの仲間達也です。

「全てをJETに」という飯田先生の万感の想いがこもった熱いメッセージ、そして言葉通り最高の結果に終わったJET2022。合計2,113名、Web視聴も可能でありながら、実に1,361人(65%)の方が会場に訪れて下さったという結果が、JETという会が提供するプログラムの魅力と、JETを通じた人と人のコミュニケーションの価値を証明してくれたと感激しています。それからまだわずか2ヶ月、余韻も冷めやらぬ状況で、JET2023プロジェクトは始動いたしました。目標はもちろん、2023年5月26日～28日の3日間、4年ぶりに東京に戻ってくるJETを、最高の結果を示したJET2022を超える、「最高のJET」とすることです。

思い返せば、3年前、JET2020の直前中止を皮切りに、多くの会が、未曾有のパンデミックを理由として開催を断念する事になりました。代替案として急速に発展したオンライン会議の技術は、我々に新しいコミュニケーションの手段を与えてくれました。間違いなく、今後も更に発展・活用されるべき技術です。しかしながら、その便利さ故に、我々は対面で行うコミュニケーションの価値を忘れかけていたような気がします。JET2022を通して、Face to Faceの価値を再認識し、ようやく、3年のパンデミックにより失われた時間や感覚を取り戻した気がします。だからこそ、JET2022は「最高のJET」であったと実感できたのでしょう。では、JET2023が「最高のJET」となるためには、何が必要なのでしょうか。これは明確に、パンデミック以前を超えること、だと思います。

大会のテーマは、中村正人先生の発案で、「diversity & inclusion」と決まりました。多様性を力として包括的な進化を遂げるであろうJET2023にふさわしいタイトルだと思います。これまで以上に、日本国内のみならず、海外参加者にも足を運んでいただける様に、しかし、エキスパートのみならず、これから血管内治療を始めていきたいという参加者も気軽に参加できる。そんなJET2023を目指しています。

最高のJETを作り上げるべく、大会長である中村正人先生の下に、私と、鈴木健之先生、宇都宮誠先生が招聘されました。開催地を変えても「アジアNo.1」の会として、世界へ発信するという趣旨を一貫して継続します。JET2023へ向けた我々のこだわりは2つ。高品質なプログラム、そして、参加者同士が共有する空間の価値です。

JET2023の会場となる赤坂インターシティコンファレンスは、東京都港区赤坂という圧倒的な立地にありながら、周囲にバランスよく緑が配置され、広々とした美しいエントランスを持つ、都会の喧騒を忘れるほどの贅沢かつ魅力的な空間です。対面開催にこだわるJET2023に、間違いなく華を添え、新たな魅力を与え、次のステージへの進化を助けてくれるでしょう。艶やかな空間を堪能していただくために、プログラム終了後は、参加者やファカルティが参加するパーティーやディナーを計画しております。

さて、皆様が最も気になっているプログラムの詳細です。

PAD、Aortic、AV access、Venousという4つのトラック(+メディカルスタッフトラック)を継承し、PADのみならず、さまざまな領域の血管内治療に焦点を当て、多くの診療科からたくさんの参加者を募ります。2020~2022のJETを大きく盛り上げた、飯田修先生、藤原昌彦先生は、川崎大三先生、山岡輝年先生と共に、PADトラックのScientific committeeとして引き続きJET2023を盛り上げて頂きます。

JETの最大の魅力であるPADメインライブでは、これまで通り、世界を見据えたスピード感溢れる、メッセージ性の高いライブを提供します。JET2022直前に開催されたLINC2022において、飯田先生と私がライブオペレーターとして登壇しましたが、現在のJETのライブのレベルが世界と遜色ないと実感する良い機会になりました。JETで世界最高峰が見られる、JETへの道が世界へ繋がる道であるという認識を、世界中へ定着させていきたいと思います。もちろん、初心者、英語が苦手な方、そして日本らしいスタイルでのライブデモンストレーションを通じて、落ち着いた学びを希望する参加者を対象とした、日本語でのスクラブライブも継続し、多様なニーズを汲みとれる会であり続けます。

さて、注目のAorticですが、今年はなんと、東京慈恵会医科大学 血管外科の大木隆生先生が、"The Big Boss"として、Aorticトラックのマネージメントを行ってくださいます。皆様が驚くような企画を用意するとの事ですので、発表をぜひお待ちください！市橋成夫先生、藤村直樹先生には昨年に引き続き、Scientific Committeeとして活躍していただきます。ステントグラフトの中継ライブを堪能できる数少ない国内のライブコースとして、特に血管外科・放射線科の先生がたを中心に、新たなJETのファンを増やしていきます。

AV accessトラックは、末光浩太郎先生に継投して頂きます。まだまだ始まったばかりのJET AV Accessトラックですが、中継ライブのみならず、ビデオライブなども駆使して、皆様が「見たい、知りたい！」と思えるような発信を行ないます。世界中で最大の透析大国である本邦から、多くの発信を行い、PADトラックと並んでアジアNO.1の発信ができるように、より魅力あるプログラムを発信します。

Venousトラックに関しても昨年と引き続き、横井宏佳先生、孟真先生にハンドリングをお願いしております。ステントや機械的血栓除去デバイスが使用できない本邦においては、諸外国様に静脈インターベンションに積極的に取り組めていないという状況が続く中、昨年、頼りにしていたウロキナーゼの供給が枯渇するという大問題が発生しました。こちらを解決すべく、JETを通じて様々な取り組みが行われています。静脈インターベンションに関する最新情報を、JET2023は発信し続けます。

Medical Staffトラックに関しても、昨年以上に魅力あるプログラムを考案していきます。特に、最近参加人数が激増している臨床工学技士さんに多く興味を持っていただけている、血管内イメージング(IVUS, OFDI)に関しては、先日発表されたImaging consensus documentの内容を絡めて、深く学べるセッションを企画します。こちらは初心者の先生がたの学ぶ機会としても適切になるかと思います。

昨年、137演題を集めたJET OPENに関しては、これまで通り丹通道先生にマネージメントをお願いします。循環器内科のみならず、血管外科・放射線科からも数多くの演題応募を頂けるように、山岡輝年先生、井上政則先生、そしてもちろん実行委員会一同連携して、魅力的な企画を作成します。また、以前から人気を集め、復活を望む声が多かった横井良明賞(画像賞)、中村正人賞(論文賞)を復活させ、できる限り多くの参加者の取り組みや努力を紹介する場所を増やしていきます。

長文になりましたが、JET2023実行委員会の「最高のJET」を目指すための取り組みについてご紹介させて頂きました。広報企画である、Road to JET、飯田のラヂオ等についても、随時スタートしていく予定です。全てを注いだ最高のJETから第一歩をスタートさせ、そして再び全てをJETへ。継続する企画と共に楽しみながら、2023年5月26日から28日、3日間のJETでお会いできることを楽しみにしております。

JET2023実行委員長
仲間 達也

Greetings from the Chairman of the Executive Committee

All from JET and all for JET again

I hope you are enjoying the nice weather. My name is Tatsuya Nakama (Tokyo Bay Medical Center), and I am the chairman of the Executive Committee of JET 2023.

Just as we imagined from Dr. Iida's passionate message, "All for JET," JET2022 was a great success. It was attended by a total of 2,113 participants, 1,361 (65%) of whom participated in person in Osaka, even though it was possible to participate online. We are deeply impressed by this amazing result because it proves not only how appealing JET's programs are but also the value of the face-to-face, interpersonal communication that occurs at JET meetings.

Just two months after JET2022, but we started to plan JET2023. Of course, the goal is to make JET2023, which will be held in Tokyo from May 26 to 28, 2023, the "best JET" and even better than the highly successful JET2022.

Looking back to the situation three years ago, many conferences, including JET2020, had to be canceled because of the unprecedented pandemic. Since then, the rapidly developing technology of online conferencing has given us a novel communication method as an alternative to in-person conferences. In the future, this technology should definitely be further developed and utilized. However, the convenience of this technology has made us forget the value of face-to-face communication. At JET2022, we reaffirmed the value of meeting each other in person and finally regained the precious time we had lost because of the terrible pandemic. The fantastic feeling of finally being able to see each other again and being back to where we were before the pandemic may explain why we truly felt that JET2022 was the "best JET." So, what should we do at JET2023 to achieve the "best JET" again? I think we definitely need to reach an even higher level than before the pandemic, and my colleagues and I have already started the JET2023 project with this in mind. At the suggestion of Prof. Masato Nakamura, the theme of the conference will be "diversity & inclusion." I believe that this theme is appropriate for JET2023 because we hope more than ever that JET2023 will be attended by not only Japanese but also international participants and by not only experts but also those who want to start providing endovascular treatment. We aim to plan a JET2023 that makes diversity and inclusion its strength.

To create the "best JET," Prof. Nakamura invited three doctors (Dr. Kenji Suzuki, Dr. Makoto Utsunomiya, and me) to be members of the Executive Committee, and we will continue to maintain the goal of disseminating information to the world as the "no. 1 meeting in Asia." We have two commitments for JET2023: a high-quality program and the value of the space shared by participants.

This year, we will be holding the conference at a different venue: Akasaka Intercity Conference Center. This venue is located in the prime location of Akasaka, Minato-ku, Tokyo. It is a luxurious and attractive space where you can forget the hustle and bustle of the city, and it will certainly add glamor and new charm to JET2023. This year, we will place great emphasis on face-to-face interactions, and the venue will help us achieve this goal. After each day's program, we plan to hold parties and dinners for participants and faculty so that everyone can enjoy the glamorous venue.

And now for the program details that everyone is waiting for:

We will continue to offer the PAD, Aortic, AV access, and Venous + Medical Staff tracks, which will focus on areas beyond PAD and attract many participants from multiple departments. As the Scientific Committee for the PAD track, Dr. Osamu Iida and Dr. Masahiko Fujiwara, who greatly improved JET from 2020 to 2022, together with Dr. Daizo Kawasaki and Dr. Terutoshi Yamaoka, will

continue to promote JET2023.

At the PAD Main Live event, which is JET's biggest attraction, as before we will continue to show world-class, fast, highly educational live surgery. At LINC2022, which was held just before JET2022, Dr. Iida and I performed the procedures as live operators, and it made us realize that the level of the current JET live performances is comparable to that of conferences all over the world. I would like to spread the word that if you participate in JET, you can learn world-class techniques, and the road to JET is in turn a road to the world. Of course, we will also continue to hold the Scrub Live event in Japanese because this event is aimed at beginners and participants who are not good at English or who want to learn in a relaxed style through live demonstrations in Japanese. In this way, JET accommodates the diverse needs of participants.

This year, Prof. Takao Ohki, Department of Vascular Surgery, The Jikei University School of Medicine, will manage the Aortic track as "The Big Boss." Prof. Ohki is preparing a surprise project, so please wait for the announcement!! Dr. Shigeo Ichihashi and Dr. Naoki Fujimura will continue to be active members of the Scientific Committee. By offering one of the few courses in Japan where you can enjoy a live demonstration of stent grafts, we hope to increase the number of new JET fans, especially doctors in vascular surgery and radiology.

The AV access track has been handed over to Dr. Kotaro Suemitsu. The JET AV Access track has just started; however, we will make full use of both live broadcasting and pre-recorded videos to make everyone want to watch and learn! Starting with Japan, which has the world's largest dialysis population, we will continue to evolve so that we can be recognized as no. 1 in Asia, just like the PAD track.

Regarding the Venous track, Prof. Hiroyoshi Yokoi and Dr. Makoto Mo will plan the programs again this year. In Japan, where venous stents and mechanical thrombectomy devices cannot be used, it is difficult to perform venous interventions in the same way as in other countries. In addition, last year we faced a serious problem where the supply of urokinase was stopped. To overcome this challenging situation, various efforts are being made through JET, led by Prof. Yokoi. JET2023 will continue to provide the latest information on venous interventions.

For the Medical Staff track, we will also provide impressive programs. We are planning a session where you can learn in depth about intravascular imaging (IVUS, OFDI), a topic of great interest to clinical engineers, whose participation has increased dramatically at recent events. Furthermore, we think this session will also be of interest for young doctors and/or beginners.

As for JET OPEN, which received 137 abstracts last year, I have asked Dr. Michinao Tan to continue to manage it. Dr. Yamaoka, Dr. Masanori Inoue, and the Executive Committee will work together to create an attractive plan so that we receive many abstract submissions not only from cardiologists but also from vascular surgeons and interventional radiologists.

We appreciate your kind attention to this "passionate" first announcement about JET 2023. In the near future, I would like to introduce the JET2023 Executive Committee's plans for being the "best JET" again. Of course, publicity projects such as Road to JET and Iida's Radio are also scheduled to start at any time.

Last year, we did it all for JET and got the "best JET." This year, we would like to do it all for JET again, and we hope that you will support us in this endeavor. We are looking forward to seeing you at JET2023 from May 26 to 28, 2023, and hope that you enjoy the ongoing projects until then.

Sincerely,

Tatsuya Nakama, MD

JET2023 Chairman of the Executive Committee
Department of Cardiology, Tokyo Bay Medical Center

Program

JET Expert Program (Pre session)

May 25 (Thu) 18:30-20:00

Hall E (4F the Amphitheater)

E0 JEP Pre session

Moderators Tatsuya Nakama, Steven Kum

Panelists Michinao Tan, Naoki Fujimura, Jackie Ho Pei, Su Hong Kim

Speakers **A successful case of chronic limb-threatening ischemia with isolated below-the-knee lesions revascularized without contrast agent**

Takehiro Yamada

Calcification, the final enemy

Jen Kuang Lee

A case of chronic mesenteric ischemia due to celiac artery stenosis and superior mesenteric artery occlusion revascularized with a bidirectional approach

Satoru Nagatomi

A case of acute lower limb ischemia after long-term femoropopliteal bypass surgery, that was successfully treated with hybrid therapy

Kuniyoshi Fukai

Prompt treatment using VIABAHN VBX to secure a root of mechanical support device for cardiogenic shock case

Koshi Matsuo

The Endoconduit techniques for poor access of EVAR

Eisaku Ito

Collapse of the VBX balloon-expandable endoprosthesis during robotic rectal surgery using the da Vinci system

Ryutaro Isoda

How to treat bilateral CLTI with location problem

Shuko Iwata

EVT Case Share with JET

May 25 (Thu) 18:30-20:00

Hall D (3F 302)

D0 EVT Case Share with JET

Supervisor 中村 正人

Moderators 宇都宮 誠, 藤原 昌彦

Panelists 三宅 啓介, 井上 政則, 鈴木 健之, 山岡 輝年

Speakers **Severe calcified plaque** に難渋した症例

尾崎 大

Two Cases of severe small artery disease

佐藤 裕介

アプローチ困難な3病変と格闘したEVT症例

岡部 宏樹

Critical Hand Ischemia に対する外科的DVA後、遠隔期の血栓閉塞に対して
CDTを実施した一例

中島 充貴

急性大動脈解離手術直後に左下肢急性循環不全を呈した一例

岩崎 義弘

アプローチサイトが限られた両側SFA閉塞を合併したLeriche症候群に
対し完全血行再建に成功した1例

辻本 誠長

SFA CTO病変に留置したEluvia及びViabahnのin stent occlusionに苦慮
したCLTI患者の一例

丸田 俊介

総腸骨動脈から浅大腿動脈までの慢性完全閉塞に対し二期的にTRIと
TAIで行ったEVT症例

遠藤 知秀

PAD Main Live Demonstration

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall A (4F the AIR)

A1 PAD Main Live Demonstration #1 Fight against calcified lesions

Moderators Tatsuya Nakama, Hiroyoshi Yokoi

Facilitator Akiko Tanaka

Panelists Akio Kodama, Kazuki Tobita, Donghoon Choi, Yann Gouëffic, Sabine Steiner, Darryl Lim, Chung-Ho Hsu

Operator Masato Nakamura

Transmitting from : Toho University Ohashi Medical Center

Operator Daizo Kawasaki

Transmitting from : Morinomiya Hospital

Short Lecture **Long-awaited atherectomy device, is it true or fake?**

Tatsuya Nakama

Go Ranger! The story of Five Rangers

Yusuke Tomoi

Characteristics of target lesion revascularizations after DCB angioplasty for FP interventions - insights from the COMPARE trial

Sabine Steiner

Clinical impact of aneurysmal degeneration, serial assessment of angio, IVUS and OCT

Tomofumi Tsukizawa

Co-sponsor : Boston Scientific Japan K.K.

A2 PAD Main Live Demonstration #2

Trans-radial aortoiliac intervention

Moderators Masahiko Fujihara, Yoshimitsu Soga
Facilitator Tatsuro Takei
Panelists Shinya Sasaki, Norihiko Shinozaki, George Adams, Guang Ming Tan, Jackie Ho Pei, Mohammad Reza Junieri Pasciolly, Young guk Ko

Operator Kenji Suzuki

Transmitting from : Toho University Ohashi Medical Center

Operator Daizo Kawasaki

Transmitting from : Morinomiya Hospital

Short Lecture **Beyond femoral approach, trans-radial approach would be main treatment strategy in mild to moderate ilio-femoral lesion**

Kazuki Tobita

The Hong-Kong style: the benefit of radial access

Guan Ming Tan

The US style: how to utilize the strong point of radial access

George Adams

How to appropriately use the R2P versus RADIANZ system in the real-world aortic-iliac EVT

Yoshimitsu Soga

Co-sponsors : TERUMO CORPORATION
Cordis Japan G. K.

B3 PAD Main Live Demonstration #3**Lesions expected to have poor outcome**

Moderators Kazushi Urasawa, Kenji Suzuki

Facilitator Takahiro Tokuda

Panelists Shinsuke Mori, Yoshito Yamamoto, Donghoon Choi, Veera Suwanruangsri

Operator Masato Nakamura

Assistant Makoto Utsunomiya

Transmitting from : Toho University Ohashi Medical Center

Operator Daizo Kawasaki

Transmitting from : Morinomiya Hospital

Short Lecture **How to change my endovascular practice by IVUS application**

Amane Kozuki

Utility of the Zilver PTX prediction model for femoropopliteal interventions

Sabine Steiner

Will the EVUS guide wiring change the future of FP-EVT?

Hideyuki Takimura

Key tip and tricks are "intraplaque wiring", lesson I have learnt for the EAGLE study

Naoki Hayakawa

Co-sponsors : Cook Medical Japan G.K.
Philips Japan, Ltd.

A4 PAD Main Live Demonstration #4**Which is the best strategy for below-the-knee CTO?**

Moderators Tatsuya Nakama, Hiroyoshi Yokoi

Facilitator Yo Iwata

Panelists Kazushi Urasawa, Akio Kodama, Pankaj Jha, Jen Kuang Lee, Young Guk Ko, Roberto Ferraresi, Lorenzo Patrone

Operator Andrej Schmidt

Transmitting from : Leipzig University Hospital

Operator Daizo Kawasaki

Transmitting from : Morinomiya Hospital

Short Lecture **Beyond below and below the ankle intervention, SAD and BAD story**

Roberto Ferraresi

IVUS can change CLTI outcomes

Yoshimitsu Soga

Does the sirolimus technology change the CLTI strategy?

Edward Choke

Safety and efficacy of all-comers treated with paclitaxel-coated balloon for below the knee intervention

Sabine Steiner

Co-sponsors : Medico's Hirata Inc.

KANEKA MEDICAL PRODUCTS.

TERUMO CORPORATION

A5 PAD Main Live Demonstration #5**Extremely severely calcified lesion**

Moderators Tatsuya Nakama, Hiroshi Ando

Facilitator Yo Iwata

Panelists Yusuke Tomoi, Keisuke Miyake, Sabine Steiner, Shannon D. Thomas, Chia-Hsun Lin, Chung-Dann Kan

Operator Osamu Iida

Transmitting from : Toho University Ohashi Medical Center

Operator Andrej Schmidt

Transmitting from : Leipzig University Hospital

Short Lecture **Escape from the "bully" calcium**

Sorrracha Rookkapan

All calcifications should be high risk for DCB treatment? The CROCODIL study implies real atherectomy indication prior to use of DCB

Shinsuke Mori

Pave and Crack: Is this technique is really acceptable?

Shin Okamoto

Lesson learnt from the ARMADILLO study, what this study change my practice

Kazunori Horie

Co-sponsors : W. L. Gore & Associates G.K.

NIPRO CORPORATION

ASAHI INTECC CO., LTD.

Century Medical, Inc.

A6 PAD Main Live Demonstration #6**Fight against calcified FP lesions**

Moderators Masato Nakamura, Makoto Utsunomiya

Facilitator Makoto Sugihara

Panelists Ryoichi Kyuragi, Jun Jie Ng, John R. Laird, Edward Choke, Chung-Ho Hsu, Kwong-Shun Chan, Jaroen Cheewinmethasiri

Operator Tatsuya Nakama

Transmitting from : Tokyo Bay Medical Center

Operator Yoshimitsu Soga

Transmitting from : Kishiwada Tokushukai Hospital

Short Lecture Lesson from the Disrupt PAD III: Does it change the preparation methods?

George Adams

Lesson from the real-world registry: the truth of leaving nothing behind strategy

Nobuhiro Suematsu

The report from the LIBERTY 360 study: Who can receive the benefit of Orbital Atherectomy?

Jihad A. Mustapha

Primary experience of imaging guide atherectomy for FP lesions

Naoko Higashino

Co-sponsors : Boston Scientific Japan K.K.
Medtronic Japan Co., Ltd.
TERUMO CORPORATION

A7 PAD Main Live Demonstration #7**Popliteal involved lesion**

Moderators Daizo Kawasaki, Shinsuke Nanto
Facilitator Nobuhito Kaneko
Panelists Masayoshi Kimura, Hiroki Takahashi, Marco Manzi, Lorenzo Patrone, Yann Gouëffic, Hsuan Li Huang, Darryl Lim

Operator Michinao Tan

Transmitting from : Tokyo Bay Medical Center

Operator Masahiko Fujihara

Transmitting from : Kishiwada Tokushukai Hospital

Biomimics 3D: Why does the BMS still need in this era?

Masato Nakamura

**New BD recommend style, the combination of 30 cm brothers
(Ultrascore followed by Lutonix DCB)**

Marco Manzi

High doze vs. low doze DCB in the treatment of real-world FP lesions
Shinsuke Mori**A new trend of Biomimics 3D stent with cilostazol administration in the
contemporary FP practice**

Taku Toyoshima

Co-sponsors : Medicon, Inc

Otsuka Medical Devices Co., Ltd.

NIPRO CORPORATION

A8 PAD Main Live Demonstration #8**Approach for recurrence paclitaxel devices**

Moderators Kenji Suzuki, Naoto Inoue

Facilitator Yosuke Hata

Panelists Hiroki Takahashi, Akio Kodama, Nattawut Puangpungngam, Ahmed Rafizi Hariz Ramli, Shannon D. Thomas, Chung-Ho Hsu

Operator Tatsuya Nakama

Transmitting from : Tokyo Bay Medical Center

Operator Masahiko Fujihara

Transmitting from : Kishiwada Tokushukai Hospital

Difference of the predictor of early and late restenosis of DCB

Taku Toyoshima

Are all DCBs same? How to differentiate? Lesson from the Japanese pivotal trials

Kenji Suzuki

Lesson from the XTOSI Pilot Study; will the Limus DCB change the games?

Edward Choke

The result from the PROSPECT MONSTER study

Yo Iwata

Co-sponsors : Medtronic Japan Co., Ltd.
Boston Scientific Japan K.K.
NIPRO CORPORATION

A9 PAD Main Live Demonstration #9**Use of covered stent for AI lesion**

Moderators Takao Ohki, Osamu Iida

Facilitator Eiji Karashima

Panelists Tsuyoshi Shibata, Hideaki Aihara, I-Ming Chen, Po-Jen Ko, Sorracha Rookkapan, George Adams, Ramon L. Varcoe

Operator Tatsuya Nakama

Transmitting from : Tokyo Bay Medical Center

Operator Masahiko Fujihara

Transmitting from : Kishiwada Tokushukai Hospital

Short Lecture **The result from the AVOCAD II study**

Yusuke Tomoi

VBX is the best solution for complex AIOD: Review of the VBX evidence

I-Ming Chen

What does IVUS illustrated for aortoiliac intervention?

Kei Sato

Does the LIFESTREAM make new "stream" for AI intervention?

Marco Manzi

Co-sponsors : Medicon, Inc

W. L. Gore & Associates G.K.

ASAHI INTECC CO., LTD.

Philips Japan, Ltd.

A10 PAD Main Live Demonstration #10**Latest BTK technique**

Moderators Osamu Iida, Shinsuke Nanto

Facilitator Taku Kato

Panelists YueHong Zheng, Marco Manzi, Pua Uei, Jihad A. Mustapha, Yin Chun Skyi Pang, Sabine Steiner, Lorenzo Patrone

Operator Masahiko Fujihara

Transmitting from : Kishiwada Tokushukai Hospital

Operator Tatsuya Nakama

Transmitting from : Tokyo Bay Medical Center

Short Lecture How should we fight against challenging BTK lesions?

Lorenzo Patrone

Learn from the "Below-the-knee Calibration" study:

Should we use IVUS for BTK?

George Adams

Possibility of the atherectomy and DCB for BTK

-results from the Lutonix BTK study

Jihad A. Mustapha

Future prospects of the BTK intervention -BRS Again-

Ramon L. Varcoe

Co-sponsors : KANEKA MEDICAL PRODUCTS. / ASAHI INTECC CO., LTD. / Cordis Japan G.K.
TERUMO CORPORATION / Boston Scientific Japan K.K.
Orbusneich Medical K. K. / Tokai Medical Products Inc.

Opening Ceremony / Assembly**Opening Ceremony / Assembly**

Moderators Masato Nakamura, Hiroyoshi Yokoi

PAD Scrub Live Demonstration

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall C (4F 401)

C1 PAD Scrub Live Demonstration #1

ライブ中継：東邦大学医療センター大橋病院

Combination with IVUS and EVUS

エコーガイドのみならず、IVUS も併用しての緻密な EVT を

Moderators 杉原 充, 久良木亮一

Panelists 岡本 慎, 滝村 英幸, 小西 宏和, 青山 里恵

Operator 原口 拓也

Short Lecture ど真ん中はいいことか？ True/sub 論争を冷静にまとめてみる

岡本 慎

3つある DCB、どうやって使い分けていますか？

忖度なしの本音話します

山田 雄大

May 26 (Fri) 10:30-12:00

Hall C (4F 401)

C2 PAD Scrub Live Demonstration #2

ライブ中継：森之宮病院

Trans-radial EVT

Trans-radial で手技を行う際の Tips & tricks

Moderators 岩田 曜, 安藤 弘

Panelists 相原 英明, 田崎 淳一, 矢西 賢次, 植野 啓介

Operator 木村 雅喜

私はこうやって外科医に Radial の良さを伝えた

～循環器の当たり前は、他科の非常識～

末松 延裕

外科医の眼に Radial approach はどう写っているのか

久良木亮一

May 26 (Fri) 13:40-15:10

Hall C (4F 401)

C3 PAD Scrub Live Demonstration #3

ライブ中継：東邦大学医療センター大橋病院

IVUS guided (not wiring) EVT

IVUS を用いてエンドポイントの判断を - ワイヤリングは自由に -

Moderators 高橋 大, 安藤 弘

Panelists 原口 拓也, 佐藤 友保, 佐藤 圭, 伊藤 栄作

Operator 堀江 和紀

結局、EVT 中に IVUS の何を見れば良いのか？

倉田 直哉

DES と DCB、どう違うの？ どう使い分けるの？

永富 晃

C4 PAD Scrub Live Demonstration #4

ライブ中継：森之宮病院

恒例の CLTI マネージメント企画**シンプルな EVT + カテ室でのマイナーアンプタに注目を**

Moderators 小島 俊輔, 山内 靖隆

Panelists 竹井 達郎, 松原健太郎, 山田 雄大, 大浦 紀彦

Operators 加藤 拓, 福永 匡史

Short Lecture 血行再建医はどこまで創傷管理に手を出すべきか？

- やりすぎの線引きってありますか？ -

大浦 紀彦

CLTI 患者において、DES と DCB で創傷治癒率は違うのか？

鈴木 理穂

C6 PAD Scrub Live Demonstration #5

ライブ中継：岸和田徳洲会病院

OFDI をどう EVT に生かすのか

Moderators 滝村 英幸, 土谷 武嗣

Panelists 福永 匡史, 岡本 慎, 吉岡 直輝, 島 裕樹

Operator 上月 周

Short Lecture IVUS と OFDI と根性、EVT に大切なのはどれですか？

- イメージングガイド時代を振り返る -

山内 靖隆

FP 病変に対する OFDI の有効性 OCEAN-SFA 研究の結果から

築山 義朗

C7 PAD Scrub Live Demonstration #6

ライブ中継：東京ベイ・浦安市川医療センター

IVUS guide wiring**セントラルワイヤリングはアウトカムを変えるのか？**

Moderators 畑 陽介, 安藤 弘

Panelists 鳥居 翔, 植本 恵則, 良永 真隆, 加藤 太門

Operator 早川 直樹

Short Lecture IVUS と真ん中と私 -IVUS ガイドは全てに勝る？ -

植本 恵則

IVUS ガイドワイヤリングの「いろは」

岩崎 義弘

C8 PAD Scrub Live Demonstration #7

ライブ中継：岸和田徳洲会病院

BTK をイメージングガイドで治療**アンギオガイドでの手技と何が変わらるのか？**

Moderators 毛利 晋輔, 宮下 裕介

Panelists 徳田 尊洋, 堀江 和紀, 築山 義朗, 新垣 正美

Operator 飛田 一樹

Short Lecture **BTK のバルーンを大きくすると、具体的に何が変わらるのか？**

毛利 晋輔

レオカーナって、効いたって実感したことありますか？

佐竹 晃徳

C9 PAD Scrub Live Demonstration #8

ライブ中継：東京ベイ・浦安市川医療センター

FP の CTO をシンプルに仕上げる**どのようにしてレトロを組むか、組んだ後の手技をどうするか？**

Moderators 原口 拓也, 宮本 明

Panelists 谷口 良輔, 田尻 勇太, 菱刈 景一, 松尾 浩志

Operator 緒方 健二

Short Lecture **SFA の CTO に対する手技を病理学的に考えてみる**

鳥居 翔

0.018-inch ワイヤーの有効性を考えてみる

田尻 勇太

Aortic Live

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall B (3F 301)

B1 Aortic Live #1

AFX: short neck

Moderators Shigeo Ichihashi, Naoki Fujimura, Chia-Hsun Lin

Facilitator Satoru Nagatomi

Panelists Toshihiko Isaji, Kentaro Matsubara, Norio Hongo, Sorracha Rookkapan

Operator Takao Ohki

Coordinator Kota Shukuzawa

Transmitting from : The Jikei University School of Medicine

Co-sponsor : Japan Lifeline Co., Ltd

May 26 (Fri) 10:30-12:00

Hall B (3F 301)

B2 Aortic LBCT

Moderators Tetsuya Fukuda, Toshio Takayama

Panelists Ryosuke Taniguchi, Takuya Hashimoto, Kentaro Matsubara, Apostolos K. Tassiopoulos, I-Ming Chen

Speakers **Outcomes of embolization procedures for type II end-leaks following endovascular abdominal aortic repair**
Shinichi Iwakoshi

Preemptive side branch embolization at endovascular abdominal aortic aneurysm repair reduces reintervention and promotes sac shrinkage
Takuro Shirasu

Three-year result from ACTIVESEAL study
Naoki Fujimura

Efficacy of transarterial embolization for type II endoleak following endovascular aneurysm repair
Toru Ide

May 26 (Fri) 13:40-15:10

Hall A (4F the AIR)

A3 Aortic Live (Ohki Live) #2

IBE

Transmitting from : The Jikei University School of Medicine

Moderators Osamu Iida, Shigeo Ichihashi, Ramon L. Varcoe

Facilitator Shinichi Iwakoshi

Panelists Ryosuke Taniguchi, Hidetake Kawajiri, Apostolos K. Tassiopoulos

Operator Takao Ohki

Coordinator Kota Shukuzawa

Co-sponsor : W. L. Gore & Associates G.K.

B4 Aortic Live #3**Najuta**

Transmitting from : The Jikei University School of Medicine

Moderators Kazuo Shimamura, Hiroshi Banno, Po-Jen Ko

Facilitator Tetsuya Fukuda

Panelists Yujiro Ito, Naoki Fujimura, Yoshiaki Saito, Veera Suwanruangsri

Operator Takao Ohki

Coordinator Kota Shukuzawa

Co-sponsor : SB-KAWASUMI LABORATORIES, INC.

B5 Aortic Live #4

Transmitting from : Groupe Hospitalier Paris Saint Joseph

Moderators Kazuo Shimamura, Shigeo Ichihashi, Young Guk Ko

Facilitator Naoki Fujimura

Panelists Takuro Shirasu, Yukihisa Ogawa, Yoshiaki Saito, Hidetake Kawajiri

Operator Stephan Haulon

Coordinator Tilo Kölbel

Summary & Conclusion Takao Ohki

Aortic Talks 2023

May 27 (Sat) 9:00-10:30

Hall D (3F 302)

D6 Aortic Talks 2023 #1

Live Review

Moderators Naoki Fujimura, Kazuo Shimamura, Toshio Takayama

Panelists Satoru Nagatomi, Takuya Hashimoto, Jackie Ho Pei, Suthas Horsirimanont

Presenter Takao Ohki

May 27 (Sat) 10:30-12:00

Hall D (3F 302)

D7 Aortic Talks 2023 #2

Surgeon-modified

Moderators Takao Ohki, Toshio Takayama, I-Ming Chen

Panelists Takuro Shirasu, Yujiro Ito, Shinichi Iwakoshi, Apostolos K. Tassiopoulos

Speakers **Modified techniques to increase safety and feasibility of surgeon-modified fenestrated/branched stentgraft treatments**

Norio Hongo

Current techniques of complex endovascular repair using surgeon modified endograft

Hiroshi Banno

Surgeon-modified fenestrated endovascular repair of complex aortic aneurysms

Hirotugu Ozawa

Surgeon-modified technique for aortic arch pathology: retrograde in-situ branched stentgraft (RIBS)

Yoshiaki Saito

D8 Aortic Talks 2023 #3**Dissection**

Moderators	Shigeo Ichihashi, Kazuo Shimamura, Po-Jen Ko
Panelists	Hidetake Kawajiri, Yukihisa Ogawa, Arudo Hiraoka, Chung-Dann Kan
Speakers	Introduction Toshio Takayama Stabilise technique Naoki Fujimura Candy plug Yukihisa Ogawa Fate of brunch from FL Shinichi Iwakoshi FEVAR Atsushi Akai Najuta Kota Shukuzawa

D9 Aortic Talks 2023 #4**Nightmare**

Moderators	市橋 成夫, 宿澤 孝太, 山岡 輝年
Panelists	墨 誠, 福田 哲也, 久良木亮一, 新垣 正美
Speakers	両側腸骨動脈瘤に対する EVAR に先行した内腸骨動脈塞栓術の際に逆行性 A 型大動脈解離が生じた 1 例 笠島 史成 頭側への migration をきたした fenestrated chimney EVAR の一例 鎌田 啓輔 EVAR 術中のバルーン操作により左 CIA 破裂を來した 1 例 遠藤 貴士 エクスクルーダーコンフォーマブルの対側ゲート展開不良により Aorto-uni iliac conversion を要した 1 例 佐野 允哉 自作開窓型ステントグラフトが中枢に migration した！なんとか triple chimney で bail out した 1 例 尤 礼佳 EVAR 術後に 3 回 ALI を繰り返した 1 例 林 秀行 解離性大動脈瘤に対して TEVAR, EVAR 後、腎動脈へのステント留置の際に逆行性 A 型解離を來した症例 伊藤雄二郎 両側総腸骨動脈瘤に対する EVAR 後に不全対麻痺を生じた 1 例 川尻 英長

JET Embolization 2023

May 27 (Sat) 17:00-18:30

Hall D (3F 302)

D10 JET Embolization 2023

Moderators 井上 政則, 大須賀慶悟

Panelists 小川 普久, 下平 政史, 福田 哲也

Video Fibered Coil の新たな立ち位置

井上 政則

Short Lecture 外科医として Fibered Coil をどう活かすか

柴田 豪

Video EVAR 前の大動脈側枝塞栓術に於ける Avenir コイルの実力

本郷 哲央

Short Lecture i-ED コイルを使用すべき 5つの理由

蘆田 浩一

Video ステントグラフト関連手技における Target コイルの使いどころ

上田 達夫

Co-sponsors : 株式会社カネカメディックス

日本ストライカー株式会社

日本ライフライン株式会社

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

AV access Live

May 27 (Sat) 9:00-10:30

Hall B (3F 301)

B6 AV access Live #1

ライブ中継：横浜第一病院

Angio guided Viabahn for failed AV graft Viabahn の適応から手技の基本を総復習

Moderators 笹川 成, 原田 裕久

Panelists 山本 脩人, 根本 一

Operator 宮本 雅仁

Speaker **VIDEO Ultrasound guided Viabahn**
末木 志奈

Co-sponsors : W. L. Gore & Associates G.K.
Medicon, Inc

May 27 (Sat) 10:30-12:00

Hall B (3F 301)

B7 AV access Live #2

ライブ中継：横浜第一病院

IN.PACT AV DCB for failed AV fistula

これを見たら INPACT の使い方、使いどころがわかる！

Moderators 佐藤 暢, 森本 章

Panelists 野口 智永, 小林 大樹

Operators 大川 博永, 末光浩太郎

Co-sponsor : Medtronic Japan Co., Ltd.

May 27 (Sat) 13:20-14:50

Hall B (3F 301)

B8 AV access Live #3

ライブ中継：横浜第一病院

Thrombectomy for occluded AV graft

グラフト閉塞どうやって再開通してる？

Moderators 原田 裕久, 山本 脩人

Panelists 小川 智也, 小林 大樹

Operator 宮本 雅仁

Speaker **VIDEO EVAC for failed VA**
末木 志奈

Co-sponsor : NIPRO CORPORATION

B9 AV access Live #4**Anogio guided VAIVT for chronic obstructive lesion****慢性閉塞病変を通す！ただそれだけ！！！**

ライブ中継：横浜第一病院

Moderators 小川 智也, 村上 雅章

Panelists 笹川 成, 根本 一

Operator 末光浩太郎

Speaker **セントロスフロー右内頸静脈から挿入するコツ**
末光浩太郎Co-sponsors : Boston Scientific Japan K.K.
HEIWA BUSSAN CO., LTD**B10 AV access Live #5****Ultrasound guided VAIVT assisted ultrasound sonographer****超音波ガイド下 VAIVT の二人法はこうやるんだ！**

ライブ中継：横浜第一病院

Moderators 野口 智永, 佐藤 暢

Panelists 村上 雅章, 森本 章

Operators 大川 博永, 山本 裕也

Speakers **Wolverineってシャントに使えそう！？**
村上 雅章**エコーライド T-VAIVT サポートする立場から**
人見 泰正

Co-sponsor : Boston Scientific Japan K.K.

AV access Talks 2023

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall B (3F 301)

B11 AV access Talks 2023 #1

ワインのつまみになるシャントの話

Moderators 末木 志奈, 山本 健人

Panelists 佐藤 暢, 森本 章

Speakers Smart Fusion はエコーで可視しにくい部位への手助けになる！？

エコーガイド下 VAIWT での可能性

小林 大樹

3FrVAIWTってどのバルーンが使えるの？

本宮 康樹

ハイボリュームセンターのシャント手術ってどのくらい早いの！？

村上 雅章

長期留置のトラブルに対して、入れかえる前にやっていること

安田 透

外科的血栓除去の嫌なところ

宮本 雅仁

May 28 (Sun) 10:30-12:00

Hall B (3F 301)

B12 AV access Talks 2023 #2

Let's learn new techniques and new devices from Expert Doctors!

Endo AVF, Sirolimus DCB, Eluvia, etc.

Moderators Hirohisa Harada, Jackie Ho Pei

Panelists Masaaki Murakami, Kazuhiro Sato

Speakers Ultrasound-Assessed Lesion Morphology and Drug-Coated Balloon Treatment for de novo Failed Arteriovenous Fistula in Hemodialysis Patients

Kotaro Suemitsu

Drug coated balloon for failed AV graft

Yin Chun Skyi Pang

Advantages of Bare Metal Stents ~Compared to Stent Grafts~

Shannon D. Thomas

EndoAVF (Ellipsys and WavelinQ)

Pua Uei

Early experience of Sirolimus DCB

Jackie Ho Pei

May 26 (Fri) 8:00-10:30

Hall D (3F 302)

D1 JET Venous #1

静脈 基礎

Moderators 小川 智弘, 孟 真

Speakers 慢性静脈不全の病態生理

小川 智弘

慢性静脈不全の分類と評価法—VCSS VDS

Villalta scale と静脈疾患の QOL スコアを含めて

赤木 大輔

エコー診断 Video Live

白杉 望

圧迫療法 Video Live

今井 崇裕

静脈性潰瘍の診断、治療、誰が血管内治療の適応か？

孟 真

静脈疾患の新しいガイドライン ESVS / AVF

久米 博子

下肢静脈瘤の治療（レーザ焼灼術 PAPS）Video Live

手島 英一

下肢静脈瘤の治療（高周波焼灼術）Video Live

今井 崇裕

下肢静脈瘤の治療（血管内塞栓術 VenaSeal）Video Live

小川 智弘

下肢静脈瘤の治療（硬化療法）Video Live

広川 雅之

D2 JET Venous #2**Acute DVT**

Moderators 安齋 均, 山田 典一, 孟 真

Speakers 急性期深部静脈血栓症の実態と保存療法

山下 侑吾

薬物療法（抗凝固療法）

山本 剛

DVT 治療における安静度、フィルター留置、遠位型 DVT の抗凝固療法をどうするか？

孟 真

DVT インターベンションとのその適応

荻原 義人

tPA を用いた CDT 治療：多施設データより

安齋 均

新たな血栓除去デバイスの概要とその効果

孟 真

DVT 治療：多くの症例で DOAC のみで十分な理由、エビデンスに基づいた提案

星野 祐二

D3 JET Venous #3**Acute PE**

Moderators 安齋 均, 山田 典一

Speakers Intermediate-high APTE のマネージメント

山本 剛

超重症 APTE の治療 自験例に基づいて

辻 明宏

APTE に対する吸引デバイスについて

山本 剛

D4 JET Venous #4**深部静脈血栓後症候群 (PTS) / 静脈ステント**

Moderators 安齋 均, 孟 真

Speakers DVT と PTS : 自然予後の観点から

山下 侑吾

PTS の発症は早期血栓除去で抑えられたのか?

安齋 均

PTS インターベンション

星野 祐二

静脈ステントとその管理

安齋 均

深部静脈治療の観点から見る下肢静脈瘤と穿通枝不全の捉え方

星野 祐二

D5-1 JET Venous #5**IVC filter 留置の適応と抜去**

Moderators 安齋 均, 孟 真

Speakers 産管学協力の重要性：回収型下大静脈フィルター事例に

孟 真

IVCF の基礎 3種の filter の比較

小泉 淳

がん患者に対する IVCF の適応と効果：Command 研究から

山下 侑吾

IVCF の外科的抜去

孟 真

IVCF の留置と抜去の傾向、合併症の頻度の検討

安齋 均

IVCF 抜去困難例 Video

船津 篤史

D5-2 JET Venous #6**静脈ステント / 血栓除去デバイス THM**

Moderators	横井 宏佳, 池田 浩治
Panelists	白土 治己, 森川 華子, 星野 祐二, 安齋 均, 山田 典一, 田島 廣之, 鈴木 由香, 土井 功夫
Speakers	診療指針 : 静脈ステント 孟 真 診療指針 : 血栓除去デバイス DVT 孟 真 診療指針 : 血栓除去デバイス PE 山本 剛 行政の立場から 森川 華子 企業の立場から 仙土のぞみ, 納島 隆成

G8 JET Venous #7**Venous Stent Video Live**

Moderators	横井 宏佳, 安齋 均
Panelists	小川 智弘, 田邊 康宏, 西部 俊哉, 長谷部光泉, 岩崎 清隆
Speakers	Taped Case from Japan 星野 祐二 Taped Case from US Mitchell Silver Recorded Live Case: Optimizing Outcomes with Venous Stent in Post Thrombotic Syndrome (PTS) Patient with Recurrent DVT Moderator: Tjun Tang Operator: Bruno Migliara

G9 JET Venous #8**Thrombectomy System Video Live**

Moderators	横井 宏佳, 山田 典一
Panelists	船津 篤史, 辻 明宏, 田島 廣之, 岩崎 清隆
Speakers	日本の現状について 安齋 均 Case Presentation (DVT) James Benenati Case Presentation (PE) Patrick Muck

Late Breaking Clinical Trials / Latest Evidence from Japan

May 26 (Fri) 8:00-9:00

Hall A (4F the AIR)

Late Breaking Clinical Trials / Latest Evidence from Japan #1

Moderators Osamu Iida, Sabine Steiner

Panelists Shinsuke Kikuchi, Yoshimitsu Soga, Tatsuya Nakama, YueHong Zheng, Shannon D. Thomas

Speakers **24-month results from POPCORN (PrOsPective multiCenter registry Of new dRug-coated balloN for femoropopliteal disease) registry**

Akiko Tanaka

COMFORT (COnteMporary strategy For aORToiliac intervention) registry

Masahiko Fujihara

12-month results from POPCORN Type R (PrOsPective multiCenter registry Of new dRug-coated balloN Type "Ranger" for femoropopliteal disease) registry

Kazuaki Imada

12-month results from BURDOCK (The best endovascular therapy for calcified femoropopliteal artery disease with interwoven nitinol stent backup strategy) CFA study

Kazunori Horie

Halo and Eluvia (analysis from Eminent and Imperial)

Yann Gouëffic

RESCUE ALI (REtroSpective multiCenter study of endovascular or surgical intErvention for Acute Limb Ischemia) study

Michinao Tan

36-month results from CAPSICUM (Contemporary outcomes After Paclitaxel-eluting peripheral Stent implantation for symptomatic lower limb IsChemia with sUperficial feMoral or proximal popliteal lesion) registry

Tatsuya Nakama

12-month results from CAPRICORN CompArison of contemPoRary outcomes following drug-Coated ballOon versus dRug-eluting steNt in femoropopliteal artery disease) study

Yoshimitsu Soga

Late Breaking Clinical Trials / Latest Evidence from Japan #2

Moderators	Masato Nakamura, Ramon L. Varcoe
Panelists	Shigeo Ichihashi, Osamu Iida, Terutoshi Yamaoka, Donghoon Choi, Bryan Yan
Speakers	72-month results from PROPATEN registry Naoki Fujimura 12-month results from the NP028 Japan Trial - SeQuent Please DCB angioplasty for the treatment of atherosclerotic lesions in the SFA/PPA Yoshito Yamamoto 12-month results from PROSPECT-MONSTER (Second-generation low-dose drug-coated balloon versus high-dose drug-coated balloon for symptomatic femoropopliteal artery disease) study Shinsuke Mori 12-month safety and efficacy outcomes of a novel sirolimus eluting balloon for the treatment of femoropopliteal lesions: MDK-1901 Japan clinical trial Osamu Iida IN.PACT ADMIRAL Paclitaxel-Coated Balloon Assessment by the French National Health Data System: 3 years follow up Yann Goueffic 12-month results from ASPARAGUS (ASsessment of prognosis in PAtients with coRonary and/or peripherAl artery disease underGoing percUthaneouS intervention) prospective multicenter registry Mitsuyoshi Takahara REPAIR study (a REtrospective multicenter study : comparison between stent graft Placement and graft bypass for venous Anastomosis stenosis of prosthetic hemodialysis gRafts) Yoshihiro Yamamoto 12-month results from TURNIP (mulTicenter retrospective stUdy of RheocanA for In Patients with chronic limb-threatening ischemia) study Yasutaka Yamauchi

Latest Data

May 26 (Fri) 17:20-18:50

Hall C (4F 401)

C5 Latest Data #1

Moderators Kenji Suzuki, Yoshito Yamamoto

Panelists Kei Sato, Veera Suwanruangsri, Yann Gouëffic

Speakers **Ten-year Clinical Outcomes after Endovascular Treatment by Aortoiliac Stent Implantation (REAL-AI 10Y)**

Akiko Tanaka

Five-year result from the MAYONNAISE study

Kei Ichihashi

REAL-LEAD: Baseline key open

Takafumi Fujita

The Summary of evidence of IN.PACT: back to 5-years long-term history

Marianne Brodmann

Co-Sponsor: Medtronic Japan Co., LTD.

The result from the DOLPHINE study: Bigger MLA is better after DCB?

Kazunori Horie

Systematic Review and Meta-Analysis of Clinical Outcomes After endovascular treatment in patients with long femoropopliteal lesions

Yann Gouëffic

How many patients eligible for the RCT?

Yosuke Hata

The result BKIS retrospective registry: How does the OFDI change the strategy?

Tomofumi Tsukizawa

C10 Latest Data #2

Moderators	Makoto Utsunomiya, Shuichi Seki
Panelists	Mitsuyoshi Takahara, Suthas Horsirimanont, Chung-Dann Kan
Speakers	Lesson from the multicenter WARRIORS study Nobuyoshi Azuma Validation of the usefulness of the diameter reduction, spiral shape, flow impairment, or adverse morphology classification system in real-world clinical practice Takehiro Yamada Trial and real world experience on the use of MagicTouch sirolimus coated balloon for CLTI patients Edward Choke Retrospectively designed single-center study of patients with ischemic ulcerations treated by the novel low-density lipoprotein apheresis after conventional arterial revascularization therapy Shunsuke Kojima 1-year efficacy and safety after implantation of a polymer everolimus eluting stent (Xience Prime BTK) for below the knee repair in patients with critical limb threatening ischemia in a real word setting Yann Gouëffic Subanalysis of the POPCORN study: intraluminal vs subintimal Taku Toyoshima The result from the PROMISE II trial: Is the DVA last option for the no-option CLTI? Steven Kum Two years results after treatment of novel DCB in Japanese patients with atherosclerotic lesions in the SFA / Proximal PA - The TCD-17187 clinical study - Yoshimitsu Soga

Meet the LBT presenter

May 26 (Fri) 10:30-12:00

Hall E (4F the Amphitheater)

E2 Meet the LBT presenter (#1-1)

Moderators	Tatsuya Nakama, Ramon L. Varcoe
Panelists	Taketsugu Tsuchiya, Kazushi Urasawa, Steven Kum, Jen Kuang Lee
Speakers	24-month results from POPCORN (PrOsPective multiCenter registry Of new dRug-coated balloON for femoropopliteal disease) registry Akiko Tanaka
	12-month results from POPCORN Type R (PrOsPective multiCenter registry Of new dRug-coated balloON Type "Ranger" for femoropopliteal disease) registry Kazuaki Imada
	36-month results from CAPSICUM (Contemporary outcomes After Paclitaxel-eluting peripheral Stent implantation for symptomatic lower limb IsChemia with sUperficial feMoral or proximal popliteal lesion) registry Tatsuya Nakama
	RESCUE ALI (REtrospective multiCenter study of endovascular or surgical intErvention for Acute Limb Ischemia) study Michinao Tan

May 26 (Fri) 15:50-17:20

Hall E (4F the Amphitheater)

E4 Meet the LBT presenter (#1-2)

Moderators	Masahiko Fujihara, Jackie Ho Pei
Panelists	Yusuke Miyashita, Shannon D. Thomas, Nobuhiro Suematsu, Yin Chun Skyi Pang
Speakers	12-month results from CAPRICORN CompArison of contemPoRary outcomes followIn drug-Coated ballOon versus dRug-eluting steNt in femoropopliteal artery disease) study Yoshimitsu Soga
	12-month results from BURDOCK (The best endovascular therapy for calcified femoropopliteal artery disease with interwoven nitinol stent backup strategy) CFA study Kazunori Horie
	COMFORT (COnteMporary strategy For aORTiliac intervention) registry Masahiko Fujihara
	Summary of JET2023 LBCT 1 Masahiko Fujihara

E6 Meet the LBT presenter (#2-1)

Moderators	Osamu Iida, Yann Gouëffic
Panelists	Akiko Tanaka, Taku Kato, Po-Jen Ko, Pua Uei
Speakers	<p>12-month results from ASPARAGUS (ASsessment of prognosis in PAtients with coRonary and/or peripherAl artery disease underGoing percutaneouS intervention) prospective multicenter registry Mitsuyoshi Takahara</p> <p>REPAIR study (a REtrospective multicenter study : comparison between stent graft Placement and graft bypass for venous Anastomosis stenosis of prosthetic hemodialysis gRafts) multicenter study Yoshihiro Yamamoto</p> <p>12-month safety and efficacy outcomes of a novel sirolimus eluting balloon for the treatment of femoropopliteal lesions: MDK-1901 Japan clinical trial Osamu Iida</p> <p>12-month results from PROSPECT-MONSTER (Second-generation low-dose drug-coated balloon versus high-dose drug-coated balloon for symptomatic femoropopliteal artery disease) study Shinsuke Mori</p>

E9 Meet the LBT presenter (#2-2)

Moderators	Masato Nakamura, Donghoon Choi
Panelists	Shunsuke Kojima, Nobuhiro Suematsu, Jihad A. Mustapha, Yann Gouëffic
Speakers	<p>72-month results from PROPATEN registry Naoki Fujimura</p> <p>12-month results from TURNIP (muLTicenter retrospective stUdy of RheoCaNa for In Patients with chronic limb-threatening ischemia) study Yasutaka Yamauchi</p> <p>12-month results from the NP028 Japan Trial - SeQuent Please DCB angioplasty for the treatment of atherosclerotic lesions in the SFA/PPA Yoshito Yamamoto</p> <p>Summary of JET2023 LBCT 2 Masato Nakamura</p>

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall G (4F 404)

G1 JET EDU #1

Moderators 宮下 裕介, 徳田 尊洋

Panelists 菊地 信介, 田崎 淳一, 佐宗真由美

Speakers **JCS GUIDELINE 2022**

飯田 修

Beoynd the GUIDELINES

丹 通直

Medical therapy

鳥居 翔

DUS and CTA

佐藤 友保

Anatomy and Angiography

柴田 豪

Access site and puncture

吉岡 直輝

Bi-directional approaches-TCA and distal puncture

山内 靖隆

Hemostasis (Hemostatic devices)

佐々木伸也

May 26 (Fri) 10:30-12:00

Hall G (4F 404)

G2 JET EDU #2

Moderators 山本 義人, 土井尻達紀

Panelists 青山 里恵, 菱刈 景一, 池本 誠長

Speakers **Guidewires, microcatheter, and crossing devices**

小西 宏和

Guiding catheter and extension catheter

高橋 大

WINGMAN and OUTBACK

早川 直樹

IVUS

倉田 直哉

EVUS

滝村 英幸

OCT/OFDI

緒方 健二

Vascular endoscopy

畠 陽介

Pressure wire

毛利 晋輔

G3 JET EDU #3

Moderators	關 秀一, 吉岡 直輝
Panelists	佐竹 晃徳, 良永 真隆, 尾崎 大
Speakers	POBA and Scoring 辛島 謹士 Scaffolds1-VBX, Lifestream, and VIABAHN 高山 利夫 Scaffolds2-DES and DCS 岩田 曜 Scaffolds3-Supera, Biomimics and BMS 杉原 充 DCBs: Present 椿本 恵則 DCBs: Future 曾我 芳光 Atherectomy-Rotational and Directional 丹 通直 Atherectomy-Laser 金子 喜仁

G4 JET EDU #4

Moderators	菊地 信介, 三宅 啓介
Panelists	畠 陽介, 永富 晃, 田崎 淳一
Speakers	EVAR1 -NEW Device: Comformable Excluder- 川尻 英長 EVAR2 -NEW Devices: Alto- 山岡 輝年 EVAR3 -Preemptive side brunch embolization- 本郷 哲央 TEVAR1- Acute Aortic Dissection- 白須 拓郎 TEVAR2-Chronic Aortic Dissection- 柴田 豪 Percutaneous EVAR/TEVAR- Pre close- 高山 利夫 CFA Endarterectomy and Hybrid Revascularization 橋本 拓弥 Surgical Thrombectomy for ALI 久良木亮一

G5 JET EDU #5

Moderators	土谷 武嗣, 飛田 一樹
Panelists	谷口 良輔, 山田 雄大, 大浦 紀彦
Speakers	Wound management1-Cardiologist 竹井 達郎 Wound management2-Plastic surgeon 関山 琢也 Intervention1-EVT BTK 木村 雅喜 Intervention1-EVT BTA 金子 喜仁 Intervention3-Bypass surgery 児玉 章朗 DVA 竹井 達郎 Multi-disciplinary care for CLTI 福永 国史 Adjuvant therapy レオカーナ・HBO 佐々木伸也

G6 JET EDU #6

Moderators	宮本 明, 佐々木伸也
Panelists	谷口 良輔, 植野 啓介, 鈴木 理穂
Speakers	Vein1: IVC filter 安齋 均 Vein2: Intervention 星野 祐二 VAIVT 村上 雅章 Subclavian 山本 義人 Renal1: Intervention 宮下 裕介 Renal2: Denervation 鈴木 健之 Aorta 菊地 信介 Others: 内臓動脈等 井上 政則

G7 JET EDU #7

Moderators	關 秀一, 艦居 祐輔
Panelists	田尻 勇太, 矢西 賢次
Speakers	Complication: hemorrhagic Covered stent 篠崎 法彦 Complication: hemorrhagic Coil & GS & NBCA 井上 政則 Complication: embolic 三宅 啓介 Complication: General condition Anemia, CCE 相原 英明 New technique: BBQ 徳田 尊洋 New technique: DIOL 原口 拓也 IVUS guide 3D wiring 小西 宏和 New technique: PINC 竹井 達郎

JET Expert Program

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall F (4F 402)

F1 JET Expert Program #1

Moderators Nobuhiro Suematsu, Po-Jen Ko

Panelists I-Ming Chen, Jen Kuang Lee

Speakers **Tips and tricks to cross any BTK lesion**

Lorenzo Patrone

Bail out from the nightmare: with FLOWER technique

Masataka Yoshinaga

The impact of minimum stent area in VIABAHN

Masami Shingaki

Short-term single center experience of CFA thromboendarterectomy with Bovine Pericardium Patch closure; from the perspective of interventional cardiologist

Shunsuke Kojima

Two bail-out cases of wire and balloon stuck during BTK-intervention

Kenji Yanishi

My SFA CTO strategy; EVUS, IVUS and trans-collateral approach

Yuki Shima

Objective evaluation with non-contrast computed tomography can reveal calcified plaque solidity in peripheral artery disease

Dai Ozaki

A case of combination treatment of regenerative therapy and endovascular therapy for hand ischemia due to Buerger disease

Tamon Kato

F2 JET Expert Program #2

Moderators	Akira Miyamoto, Veera Suwanruangsri
Panelists	YueHong Zheng, Suthas Horsirimanont, Pua Uei
Speakers	Comparison of the clinical outcomes of CLTI patient underwent EVT and distal bypass surgery Riho Suzuki
	Clinical outcomes of hybrid (DCB, DES and IWS) therapy for femoropopliteal lesions Shuko Iwata
	A case of poor outcome after repeated EVT for occlusion after CFA replacement Kei Sato
	Clinical outcome DCB for small size femoropopliteal artery diseases Tomofumi Tsukizawa
	Prognostic impact of Geriatric Nutritional Risk Index after endovascular treatment with lower extremity artery disease Akinori Satake
	Thrombectomy with Fogarty catheter for arterial thrombosis from iliac artery to popliteal artery Ryutaro Isoda
	The advantages and disadvantages of zone 3 TEVAR Eisaku Ito
	Long-term outcomes and potential risk factors for the endovascular repair of Aortic pseudoaneurysms in vascular Behcet's disease YueHong Zheng

F3 JET Expert Program #3

Moderators Taketsugu Tsuchiya, Young-Guk Ko

Panelists Chung-Dann Kan, Darryl Lim Mingjun, Yongquan Gu

Speakers **Summary and technical tips of ARCADIA technique**

Hirokazu Konishi

**Clinical outcome after drug-coated-balloon-related distal embolism;
Comparison with three kinds of paclitaxel-coated balloon using a laser
doppler flowmetry**

Kuniyoshi Fukai

**Clinical outcomes of combination therapy (DCB + DES) for femoropopliteal
lesions**

Tomofumi Tsukizawa

Safety treatment using VIABAHN VBX for severe calcified subclavian artery

Koshi Matsuo

Strong points of Zilver PTX~from our own data and experiences~

Masanaga Tsujimoto

EVT for superior vena cava syndrome

Jen Kuang Lee

**Nightmare case: A case of frequent recurrence of occlusion after
endovascular therapy for severely calcified popliteal artery**

Yoshiro Tsukiyama

Percutaneous dialysis AV fistula creation

Gerard Goh

F4 JET Expert Program #4

Moderators Shuichi Seki, Su Hong Kim

Panelists Hsuan Li Huang, Mohammad Reza Juniery Pasciolly

Speakers **An extreme case of stent-graft rupture in severely calcified iliac artery using endo-conduit technique during TEVAR**

Taku Toyoshima

The nightmare case ~bailout of balloon fracture in iliac lesion~

Yuta Tajiri

Intervention for the ALI patient with giant popliteal artery aneurysm

Kenji Yanishi

Real world DCB performance data from ASIGARU registry

Naoki Yoshioka

Impact of polypharmacy of LEAD

Tamon Kato

Balloon cannot be crossed severe calcified BTK lesion : Achilles heel solving

Suthas Horsirimanont

Two years outcome of intraluminal approach for CTO lesions treated by DCB

Yuki Shima

Bleeding event after EVT for LEAD patients

Keiichi Hishikari

東京混沌 (TOKYO CHAOS)

May 27 (Sat) 10:30-12:00

Hall E (4F the Amphitheater)

E7 東京混沌 (TOKYO CHAOS) # 1

激昂の BEST CLI / Enraged BEST CLTI

Moderator Osamu Iida

Panelists Nobuyoshi Azuma, Kenji Suzuki, Naoki Fujimura, Steven Kum, Bryan Yan

Speakers Review of the BEST CLI

Nobuyoshi Azuma

Is the real-world patient eligible for the BEST CLI?

Osamu Iida

Is the technical failure rate of EVT acceptable?

Kenji Suzuki

View from the vascular surgeons: is it real?

Naoki Fujimura

View from the interventional cardiologists: Does it change the guidelines?

Bryan Yan

Does the BEST CLI change our daily clinical practice?

Steven Kum

May 27 (Sat) 13:20-14:50

Hall E (4F the Amphitheater)

E8 東京混沌 (TOKYO CHAOS) # 2

幻想のアテレクトミー / The Illusion of Atherectomy

Moderator 山岡 輝年

Panelists 大木 隆生, 飯田 修, 川崎 大三, 山本 義人, 竹井 達郎

Speakers これまでの治験の経験から アテレクトミーデバイスはなぜ登場しなかつたのか?

飯田 修

高まる期待! アテレクトミーで血管内治療の可能性は広がる!

竹井 達郎

本邦における数少ない経験から学ぶ

川崎 大三

病理の視点からアテレクトミーデバイスを考えてみる

鳥居 翔

経皮的アテレクトミーへの期待と限界 ~外科医の視点から~

山岡 輝年

E10 東京混沌 (TOKYO CHAOS) # 3**紛糾の CFA 再び / CFA in Confusion Act II**

Moderator 山岡 輝年

Panelists 大木 隆生, 川崎 大三, 岩田 曜, 藤村 直樹, 宮本 明

Speakers 日本の多施設研究の結果およびサブ解析から何が見えてきたのか

岩田 曜

放射線科医の視点から ~そんなに拘らなくても~

市橋 成夫

循環器内科医の視点から ~リアルワールドは本当にそれが全てか?~

宮本 明

後ろ向き「BURDOCK-CFA」は許容できる結果か?

堀江 和紀

結局誰に、どのような方法でなら、CFA-EVT は許容されるのか?

川崎 大三

噂の真相 : JET で語られる伝説は真実なのか？

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall E (4F the Amphitheater)

E1 噂の真相 : JET で語られる伝説は真実なのか？ Part 1

噂の真相！？ SFA の都市伝説の究明！

Moderators 藤原 昌彦, 曽我 芳光

Panelists 相原 英明, 金子 喜仁

Speakers 解離したら詰まるって本当ですか？

上月 周

何度もネチネチ広げた方が割れるって本当ですか？

辛島 謙士

石灰化に薬は効かないって、本当ですか？

早川 直樹

血管のど真ん中通した方が成績が良いって、本当ですか？

椿本 恵則

DCB かステントかって、結局術者主観次第って、本当ですか？

堀江 和紀

May 26 (Fri) 17:20-18:50

Hall E (4F the Amphitheater)

E5 噂の真相 : JET で語られる伝説は真実なのか？ Part 2

噂の真相！？ BTK の都市伝説の究明！

Moderators 原口 拓也, 篠崎 法彦

Panelists 土井尻達紀, 久良木亮一

Speakers 膝下を 4mm で広げて大丈夫って、本当ですか？

緒方 健二

膝下の血管全部開けた方が良いって、本当ですか？

滝村 英幸

DVA は夢の治療だって聞きましたが、本当ですか？

山内 靖隆

足首以下まで攻めないと傷が治らないって、本当ですか？

椿本 恵則

BK の CTO は全部血栓って本当ですか？

鳥居 翔

May 26 (Fri) 13:40-15:10

Hall E (4F the Amphitheater)

E3 JET Asia Pacific

Know the different situation of LEAD management in Asia

Moderators Masahiko Fujihara, Steven Kum

Panelists Tatsuya Nakama, YueHong Zheng, Chia-Hsun Lin, Guang Ming Tan

Speakers **Introduction**

Masahiko Fujihara

The situation in Korea

Su Hong Kim

The situation in Taiwan

Chung-Ho Hsu

The situation in Sydney, Australia

Shannon D. Thomas

The situation in Thailand

Sorrracha Rookkapan

The situation in Indonesia

Mohammad Reza Juniry Pasciolly

The situation in Hong Kong

Yin Chun Skyi Pang

Current situation of Japan and future prospects in the management of LEAD/CLTI

Tatsuya Nakama

We are CLTI fighters

May 26 (Fri) 17:20-18:50

Hall F (4F 402)

F5 We are CLTI fighters

Make a deep discussion for CLTI with international guests

Moderators Michinao Tan, Steven Kum

Panelists Shunsuke Kojima, Roberto Ferraresi, Jihad A. Mustapha

Speakers Challenging techniques for complex BTK and BTA lesion
Lorenzo Patroni

What was the motivation of J-BTK score development
Michinao Tan

SAD distribution: How we should be exhausted for clinically challenging situation?
Roberto Ferraresi

Think the Era of post BEST CLT: Should we change the practice?
Or what should we do after the RCT?

Yosuke Hata

REAL of CLTI: Beyond the guidelines, RCTs. How do we manage the challenging CLTI?
Marco Manzi

From the Japanese perspective: Is there any differences between each country's situations?

Shunsuke Kojima

Clinical implication of the additional below-the ankle intervention: from the result of post hoc analysis

George Adams

Transcatheter Arterialization of Deep Veins (TADV)

- Results of the landmark PROMISE 2 study

Steven Kum

カテジョ @JET

May 27 (Sat) 17:00-18:30

Hall G (4F 404)

G10 カテジョ @JET

- Moderators 鈴木 健之, 田中綾紀子
Panelists 中田 文, 大森 権子, 杉原 充
- Speakers ハイボリュームセンターの立ち上げを支える
中田 文
デイープにカテーテル治療にハマる！
田中綾紀子
ある日突然 EVT を愛する上司がいなくなったら
鈴木 理穂
女性血管外科医の生きる道 - 良きチームの一員として -
大森 権子
産休・育休は回り道か？ 懊める同志への提言
佐宗真由美
ハイボリュームセンターで、臨床に研究に邁進する、そのモチベーションは？
東野奈生子
女性医師のキャリア形成の中で求められる多様性
青山 里恵

SFA 治療後のエコー評価はどうあるべきか

May 28 (Sun) 8:00-9:00

Hall E (4F the Amphitheater)

E11 SFA 治療後のエコー評価はどうあるべきか

標準的検査方法の確立を目指して

- Moderators 宇都宮 誠, 山岡 輝年
- Speakers 治験のプロトコルは問題あり？ SFA 治療後エコー評価の問題点は？
藤原 昌彦
PSV 測定の問題点 角度補正と結果のばらつき
林 愛子
PSVR の閾 Reference はどこにおく？
石田 啓介
DCB 後の評価は難しい
小宮由美子
SFA 治療後エコー標準化プロジェクト
林 愛子

SUNDAY JET 2023

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall A (4F the AIR)

A11 SUNDAY JET 2023

The Endovascular Times

Moderators 仲間 達也, 飯田 修

Panelists 大木 隆生, 藤原 昌彦, 藤村 直樹, 市橋 成夫, 井上 正則

Speakers The "Big Boss" 大木の視点から -JET2023 を振り返る
大木 隆生

Pick up from LBTs: How many patients are eligible for BEST CLT cohort 1?
飯田 修

NEWS 1: BEST CLI は Daily Practice を変えるか?

NEWS 2: Paclitaxel 問題はグレーのまま自然消滅するのか?

Meet the LBT presenter -From the Aortic LBT-

May 28 (Sun) 10:30-12:00

Hall A (4F the AIR)

A12 SUNDAY JET 2023

The Endovascular Times

Moderators 仲間 達也, 中村 正人

Panelists 飯田 修, 横井 宏佳, 川崎 大三, 宿澤 孝太, 山岡 輝年

Speakers Pick up the Live Case A ?

NEWS 3: これまでの JET、これからの JET

The best presentation of JET OPEN

Meet the best JETOPEN Winner

大会長の視点から -JET2023 を振り返る -

中村 正人

For All Young Investigators

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall C (4F 401)

C11 For All Young Investigators #1

Moderators	Masato Nakamura, John R. Laird
Panelists	Akio Kodama, Hsuan Li Huang, Yosuke Hata, Shunsuke Kojima, Darryl Lim
Speakers	For all young doctors focused on vascular medicine Hsuan Li Huang The life as a vascular specialist in the university hospital in Japan Akio Kodama When and how do we decide our direction of the carriers John R. Laird Accumulation of my carrier as a vascular surgeon in Singapore Darryl Lim Accumulation of my carrier as an interventional cardiologist in Japan Shunsuke Kojima Is it possible to do "surgical procedure" by cardiologist as a vascular specialist Yosuke Hata
Discussion and conclusions	Endovascular therapy should be established as a "culture" Masato Nakamura

May 28 (Sun) 10:30-12:00

Hall C (4F 401)

C12 For All Young Investigators #2

Moderators	Masahiko Fujihara, Steven Kum
Panelists	Takahiro Tokuda, Taku Toyoshima, Naoki Yoshioka, George Adams, Sabine Steiner
Speakers	The motivation for the data management and publications Sabine Steiner Manage the challenging trial, manage the nation wide conference, both are challenges Ramon L. Varcoe The message from the "best" operator in the world (Recorded) Andrej Schmidt Several challenges both clinical practice and publication Takahiro Tokuda Fellowship in the highest volume center in Japan Taku Toyoshima Start the carrier as an investigator "The start of ASIGARU" Naoki Yoshioka The future of the vascular medicine in Asia Masahiko Fujihara

Off-the-Job Training

May 28 (Sun) 9:00-12:00

Hall G (4F 404), Hall L-1 (4F 403)

G11-12, L1-11-12 Off-the-Job Training

前半 Trainer 山岡 輝年, 松原健太郎, 宿澤 孝太, 久良木亮一, 堀江 和紀, 安齋 均,
早川 直樹, 上月 周, 辛島 詠士, 鈴木 健之

後半 Trainer 藤村 直樹, 緒方 健二, 土井尻達紀, 井上 政則, 杉原 充, 岩田 曜,
辛島 詠士, 高山 利夫, 柴田 豪, 鈴木 健之

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall L-1 (4F 403)

L1-1 Heat #1

Interesting clinical trials of LEAD 1

Moderators Kazushi Urasawa, Su Hong Kim

Panelists Tatsuki Doijiri, Yongquan Gu

MO-1 Progression of Small Artery Disease in Reintervention for Patients with Chronic Limb-threatening Ischemia Undergoing Inframalleolar Angioplasty
Yosuke Hata

MO-2 Contemporary Outcome of Target Lesion Revascularization on Restenosis Lesions after Drug-Coated Balloon intervention
Riho Suzuki

MO-3 Comparative 2-year clinical outcomes of paclitaxel-eluting stent and drug-coated balloon in large vessel femoropopliteal artery lesions
Masanaga Tsujimoto

MO-4 Clinical outcomes of high-dose vs. low-dose drug-coated balloon angioplasty in the contemporary femoropopliteal practice
Taku Toyoshima

MO-5 Comparison of 3-year clinical outcome between low-dose and high-dose paclitaxel drug-coated balloon in endovascular therapy for femoropopliteal lesion
Shinsuke Mori

MO-6 Clinical outcome of drug coated balloon (IN.PACT and RANGER) for femoropopliteal artery disease
Ryuichiro Imai

MO-7 Analysis about the frequency of distal emboli due to three kinds of paclitaxel-coated balloon in femoropopliteal artery using a laser doppler flowmetry
Kuniyoshi Fukai

MO-8 The safety and efficacy of the direct oral anticoagulant for the patients with symptomatic femoropopliteal disease treated by endovascular therapy
Yuki Tanaka

May 26 (Fri) 9:00-10:30

Hall L-2 (4F 405)

L2-1 Heat #2

Interesting cases of LEAD 1

Moderators Shuichi Seki, John R. Laird

Panelist Yin Chun Skyi Pang

MO-9 Successful deep venous arterialization in a CLTI patient with Burger's disease
Kazuhiro Asano

- MO-10 A case of successfully EVT from the upper extremity for CLTI with severe renal dysfunction and dementia
Takafumi Fujita
- MO-11 A case of revascularization using various techniques for the left superficial femoral artery with advanced eccentric calcification
Hideki Ebina
- MO-12 A case of bidirectional biopsy forceps approach for calcified CFA lesion
Daisuke Yamazaki
- MO-13 Successfull Endovascular treatment for CTO Bilateral Iliaca with IVUS
Mohammad Reza Juniry Pasciolly
- MO-14 The risk factors of "worsening target lesion failure (WTLF) " after endovascular therapy for femoropopliteal lesion
Yuta Azumi
- MO-15 A case of ablating the in-stent superficial femoral artery by various methods using an excimer laser atherectomy catheter
Kazuho Ukai
- MO-16 A case of angioscopic observation of in-stent occlusion of Stentgraft and DES placed in SFA-CTO lesions
Shunsuke Maruta

May 26 (Fri) 10:30-12:00

Hall L-1 (4F 403)

L1-2 Heat #3**Interesting clinical trials of CLTI**

Moderators Makoto Sugihara, Chia-Hsun Lin
Panelist Gerard Goh

- MO-17 Association between high bleeding risk and 2-year mortality in patients with chronic limb threatening ischemia
Naoki Yoshioka
- MO-18 Longitudinal Changes of Skin Perfusion Pressure in Patients with for Chronic limb-threatening Ischemia after Endovascular Therapy
Takahiro Tokuda
- MO-19 A case of impaired renal artery blood flow due to atypical mechanisms associated with aortic dissection
Junya Arai
- MO-20 Mid-term target vessel and limb outcomes between intravascular-derived and conventional endovascular therapy to revascularization in chronic limb-threatening ischemia (CLTI) patients
Saritphat Orrapin
- MO-21 Long-term prognostic risk score for CLTI including nutritional state
Yoshiteru Okina
- MO-22 The contribution of endovascular therapy to improvement of physical ability in patients with chronic limb-threatening ischemia
Norikiyo Oka

- MO-23 The association between nutritional status and clinical outcomes in chronic limb-threatening ischemia patients with wound undergone endovascular therapy
Keisuke Shoji
- MO-24 Long-term prognosis of Critical Limb-Threatening Ischemia (CLI) patients after achievement of complete wound healing
Natsumi Yanaka

May 26 (Fri) 10:30-12:00

Hall L-2 (4F 405)

L2-2 Heat #4

Interesting cases of LEAD and DVT

Moderators Nobuhito Kaneko, Hsuan Li Huang
Panelists Masataka Yoshinaga, Koshi Matsuo

- MO-25 A Complex Case of Acute Limb Ischemia with Huge Aortic Mass
Daisuke Sato
- MO-26 A partially failure case of the catheter thrombectomy for the acute elbow thrombosis
Eiji Karashima
- MO-27 An Early Fracture of Elongated Drug-eluting Stents Deployed from a Thin-walled Sheath in a Treatment of Leriche Syndrome Extending to Superficial Femoral Artery beyond Common Femoral Artery
Yuji Ohno
- MO-28 Successful preserving artery by cover stent on profunda femoral pseudoaneurysm due to penetrating femoral neck fracture in undergoing anticoagulation
Setthy Teng
- MO-29 A case of thrombotic lesion in SFA requiring unexpected multidisciplinary therapy and EVT in the absence of urokinase
Shoichiro Furukawa
- MO-30 CO₂ Angioscopy for Femoropopliteal Occlusive Disease; A First Case Report
Yusuke Sato
- MO-31 Re-intervention for physician-modified inner-branched endovascular repair failure
Shingo Tsushima
- MO-32 Massive iliofemoral deep vein thrombosis post pharmacomechanical catheter-directed thrombolysis in a 11-year-old boy diagnosed with Multisystem inflammatory syndrome in children (MIS-C)
Meng-Ying Lu

L1-3 Heat #5**Interesting clinical trials of LEAD 2**

Moderators Masanori Inoue, Jackie Ho Pei

Panelists Junichi Tazaki, Suthas Horsirimanont

- MO-33 The optimal skin perfusion pressure for wound healing in patients with chronic limb-threatening ischemia
Yosuke Hata
- MO-34 Comparison of subsequent inframalleolar bypass surgery and repeated endovascular therapy for delayed wound healing in patients with chronic limb-threatening ischemia
Riho Suzuki
- MO-35 Clinical Outcomes by Wifl Classification in Japanese Patients with Chronic Limb-Threatening Ischemia Undergoing Endovascular Therapy
Tatsuro Takei
- MO-36 The efficacy of the pain control using continuous sciatic nerve block for patients with chronic limb-threatening ischemia
Takaaki Ozawa
- MO-37 Clinical Outcome of Renal Foot in Patients with End-Stage Renal Disease and Chronic Limb-Threatening Ischemia after Endovascular Therapy
Tomoya Fukagawa
- MO-38 Are there seasonal differences in the frequency of CLTI in subtropical Okinawa?
Jun Nakazato
- MO-39 High GLASS FP grade is positively associated with wound healing in patients with CLTI undergoing EVT only for femoropopliteal disease
Takashi Yanaguchi
- MO-40 Drug-coated balloon versus drug-eluting stent in patients with chronic total occlusion of the superficial femoral artery by all intraluminal wiring
Yuki Shima

L2-3 Heat #6**Interesting clinical trials of LEAD and AV access**

Moderators Yusuke Miyashita, Pua Uei

Panelists Keiichi Hishikari, Rie Aoyama

- MO-41 Clinical impact and endothelialization after thromboendarterectomy with Bovine Pericardium Patch closure; case series
Shunsuke Kojima
- MO-42 Outcomes of thrombectomy concomitant with endovascular therapy for Acute limb ischemia: A Retrospective Analysis of 66 Consecutive Limbs
Keitaro Nakanishi

- MO-43 Novel two-stage procedure of aorto-bi-iliac stent-graft implantation performed in patients with abdominal aortic aneurysm and unilateral-iliac CTO
Tetsuya Taguchi
- MO-44 Variations of the Common Femoral Artery With the Lower Extremity Occlusive Arterial Disease Patients
Kouta Kuwazuru
- MO-45 Percutaneous Transluminal Renal Angioplasty with Distal Radial Artery Approach
Shuhei Uchida
- MO-46 Pre-closure technique for percutaneous veno-arterial extracorporeal membrane oxygenation decannulation using Perclose ProGlide at bedside, with a total solution
Chih-Hsiang Hsu
- MO-47 Changes of plaque properties in femoropopliteal arterial lesions caused by balloon angioplasty: analysis of integrated backscatter intravascular ultrasound
Takenobu Shimada
- MO-48 The efficacy of drug-coated balloons for the smaller shunt vessels of dialysis patients
Shigeyasu Tsuda

May 26 (Fri) 15:50-17:20

Hall L-1 (4F 403)

L1-4 Heat #7**Interesting clinical trials of LEAD 3**

Moderators Akira Miyamoto, Chung-Ho Hsu

Panelists Hirokazu Konishi, Yoshiro Tsukiyama

- MO-49 The impact of severe medial calcification of below knee artery estimated by optical frequency domain imaging
Kenji Ogata
- MO-50 Risk factors for early mortality after major amputation of peripheral artery disease
Mitsuo Sobajima
- MO-51 Clinical feasibility of the novel endovascular therapy with AnteOwl WR intravascular ultrasound guided for below-the-knee chronic total occlusion
Naoki Hayakawa
- MO-52 Middle-term outcomes of snare piercing technique for chronic total occluded lower extremity disease
Hirokazu Miyashita
- MO-53 The efficacy and complications of distal puncture in the treatment of chronic total occlusion of the femoropopliteal artery. DIPLOMA study
Yuichiro Hosoi
- MO-54 Clinical result of combination therapy of DES with DCB (DWD) in femoropopliteal artery
Tomofumi Tsukizawa
- MO-55 Efficacy of drug coated balloon for small femoropopliteal artery
Tomofumi Tsukizawa

- MO-56 Comparison of Limb Outcome between Hemodialysis and Non-hemodialysis Patients following Heparin-bonded Stent Graft Implantation for Femoropopliteal Lesion from LANDMARK registry
Kazuki Tobita

May 26 (Fri) 15:50-17:20

Hall L-2 (4F 405)

L2-4 Heat #8

Interesting clinical trials of LEAD 4

Moderators Norihiko Shinozaki, Donghoon Choi
Panelists Kei Sato, Yongquan Gu

- MO-57 Clinical performance of rotational atherectomy for the treatment of femoropopliteal artery lesions with severe calcification
Naoko Higashino
- MO-58 Application of paclitaxel-coated device dose not impact on clinical outcomes of patients with chronic limb-threatening ischemia in everyday practice
Masaya Kusuda
- MO-59 The real-world experience of drug-coating balloons and drug-eluting stents for femoropopliteal lesions
Ming-Lung Tsai
- MO-60 Impact of Ultrascore Percutaneous Transluminal Angioplasty Balloon Catheter on Vessel Preparation of Long Femoropopliteal Lesions
Kohei Yamaguchi
- MO-61 The complication of Switch-back technique cases using Optimo PPI sheathless kit
Takashi Miwa
- MO-62 Impact of Laser Atherectomy to Obtain Luminal Area in Endovascular Treatment of Femoropopliteal Artery In-Stent Restenosis
Haruya Yamane
- MO-63 The Relationship Between Postprocedural Fractional Flow Reserve and Short-term Outcome After Endovascular Therapy for Femoropopliteal Artery Disease
Masafumi Mizusawa
- MO-64 Impact of switching from dual antiplatelet therapy to dual pathway inhibitor therapy on occurrence of repeat thrombotic occlusion after revascularization for femoropopliteal in-stent occlusion
Sho Nakao

L1-6 Heat #9**Interesting clinical trials**

- Moderators Tomoyasu Sato, Guang Ming Tan
 Panelists Masami Shingaki, Jen Kuang Lee
- MO-65 The Clinical Experience of Percutaneous Deep Venous Arterialization for Chronic Limb-threatening Ischemia Patients
 Kunihiko Nishian
- MO-66 Instructions for use based anatomy may attenuate the beneficial effect of statin therapy on long-term mortality after endovascular aneurysm repair for patients with abdominal artery aneurysm
 Taku Toyoshima
- MO-67 Salvage of Ruptured Abdominal Aortic Aneurysm by Using 100% Endovascular Strategy: a 5-year single center experience
 Chia Ying Lin
- MO-68 Innovative Use of Capturex® Device to identify the Aortic True Lumen and Visceral Branches during TEVAR for Stanford B Aortic Dissection
 Suet Yan Ong
- MO-69 Critical limb threatening ischemia is a residual bleeding risk factor among patients with lower extremity artery disease
 Takahiro Tokuda
- MO-70 Characteristics of cases we studied TAVI of Peripheral Artery Disease (PAD) who underwent TAVI at our hospital from 2018
 Maki Ohira

L2-6 Heat #10**Interesting clinical cases of LEAD 2**

- Moderators Yo Iwata, Shannon Thomas
 Panelist Gerard Goh
- MO-71 Interwoven nitinol stents to treat juxta-anastomotic stenosis with severe calcification: a retrospective study
 Chai Hock Chua
- MO-72 Comparison of Newly-placed Stent Graft and Previously-placed Stent Graft at "Vein-Graft Junction" for Dysfunctional Arteriovenous Graft: A Retrospective Review of a Single Center in Taiwan
 Mingli L. Li
- MO-73 Improving healing wound ulcer and saving limb with Jetstream in patient critical limb threatening ischemia
 Mohammad Reza Juniry Pasciolly

- MO-74 Rheolytic Thrombectomy across the Pedal-Plantar Loop in Acute Limb Ischaemia
– A Case Report
Pei Shi Lew
- MO-75 Successful EVT using single site approach of TAI in CLTI patient considered difficult to select conventional approach site
Yui Takaiwa
- MO-76 Percutaneous DVA was effective in no-option CLTI patient who developed heel ulcer caused by repeated distal bypass graft occlusion within a short time of period: A case report
Tomonari Takagi
- MO-77 Mid-term outcomes of endovascular interventions of critical lower-limb ischemia in uremia patients
Chai Hock Chua

May 27 (Sat) 10:30-12:00

Hall L-2 (4F 405)

L2-7 Heat #11**Interesting various cases and complications**

Moderators Taku Kato, Roberto Ferraresi
 Panelists Makiko Omori, Keisuke Ueno

- MO-78 First case critical limb ischemia use stealth 360 orbital arthrectomy for Infrapoplitea lesion
Mohammad Reza Junieri Pasciolly
- MO-79 A case report of Horner's syndrome after subclavian artery aneurysm stenting
Yim Ping Wong
- MO-80 Removal of migrated vascular closure device plug material from the popliteal artery with a bi-directional approach using pushing balloon and closing embolus retrogradely (PINCER) technique
Naoki Yoshioka
- MO-81 Successful Removal of an Entrapped Stent Delivery System With an Additional Access
Eiji Miyauchi
- MO-82 Efficacy of combined finalized device strategy for the femoropopliteal artery
Shuko Iwata
- MO-83 The bailout method of implanting an elongated interwoven stent into a vessel using a needle without getting out of the body
Masanaga Tsujimoto
- MO-84 Acute thrombotic occlusion in the abdominal aorta after Impella removal
Shota Saito
- MO-85 Success in obstruction of ruptured pseudoaneurysm after pancreaticoduodenectomy by several covered stents-Two cases
Hiroshi Ishikawa

May 26 (Fri) -May 28 (Sun)

Digital Poster (4F Lobby)

Digital Poster Presentaion

- MP-1 May Thurner Syndrome unique presentation with OCP consumption
Faiza Akhlaque
- MP-2 Endovascular treatment for postoperative carotid artery occlusion after carotid endarterectomy
Joong-Goo Kim
- MP-3 Risk factors of periprocedural complications of carotid artery stenting - a multivariate analysis of a single-center experience
Chul-Hoo Kang
- MP-4 A Study of the Usefulness of Stent Grafts (VIABAHN) in the Treatment of artificial vessel Shunt
Ryo Yamamura
- MP-5 A case of Leriche syndrome in which different IVUS findings were confirmed in the same patient's bilateral iliac arteries
Yoshikuni Obata
- MP-6 Successful endovascular therapy for acute aortic occlusion in chronic phase: A case report
Daisuke Tokutake
- MP-7 A case of complex lesions for which treatment could be performed in one session but selection of approach site was difficult
Takashi Shimonaga
- MP-8 A case of Acute Limb ischemia followed by Covid-19 infection
Saburo Kusumoto
- MP-9 Percutaneous Forgarty catheter thrombectomy for intravenous intervention
Kenta Onodera
- MP-10 Three year clinical outcomes of polymer coated paclitaxel eluting stents and drug coated balloons in patients with femoropopliteal artery disease
Naoki Yoshioka
- MP-11 A rare case of an aortic arch stent causing central vein stenosis
Delphina Yeo
- MP-12 "Twist and pull" for stuck dialysis central venous catheter: case series in KCMH, THAILAND
Pawannrat Kranokpiraksa
- MP-13 A case of stent elongation due to stent failure in FP lesions
Masao Hayashi
- MP-14 An unusual mechanism of a mid-SFV DVT arising after cyanoacrylate glue treatment for LSV incompetence
Zoe Tan
- MP-15 A Case of Iatrogenic Subclavian Artery Injury Successfully Treated with Endovascular Treatment with a Stent Graft
Masataka Kajiwara

MP-16 Where to put sheath in when ipsilateral or contralateral CFA is not possible

Wacharaphong Pitaksantayothin

Under 35 challenge!!

May 26 (Fri) 17:20-18:50

Hall L-1 (4F 403)

L1-5 Under 35 challenge!! #1

Moderators 宮下 裕介, 菩刈 景一

Panelists 伊藤 栄作, 岡部 宏樹

M0-87 慢性完全閉塞を含む両側総腸骨動脈および左浅大腿動脈病変に対してR2PとTAIによる低侵襲アプローチにて1期的にEVTを行った1例
宮原 克徳

M0-88 強皮症を背景としたBTK 3枝のCTOによるCLTI患者に対して、IVUS guided parallel wiringを用いて血行再建に成功した一例
市原 慎也

M0-89 大膝窩動脈瘤を伴う包括的下肢慢性下肢虚血（CLTI）症例に対してSUPERAステントを用いた経カテーテル的血管内治療で下肢血流改善と動脈瘤内への血流消失が得られた1例
中田 悠貴

M0-90 腹腎同時移植後早期にIIA-EIAグラフトの閉塞を起こし、EVT後も再発を繰り返すため、毎回EVTのstrategyに悩んだ重症下肢虚血の症例
川島 直之

M0-91 steal症候群によるCLTIの1例
永井 泰斗

M0-92 浅大腿動脈から膝下動脈まで連続する長区間閉塞病変に対してAnte Owl WR IVUSガイド下ワイヤリングが有用であった一例
三輪 宏美

M0-93 Surgeon modified fenestrated EAVR後、endoleakおよび瘤径拡大によるSMA狭窄に対して、ペリグラフト塞栓およびSMAステント留置を行なった1例
竹下 謙

May 26 (Fri) 17:20-18:50

Hall L-2 (4F 405)

L2-5 Under 35 challenge!! #2

Moderators 高橋 大, 田尻 勇太

Panelist 磯田竜太郎

M0-94 性偽腔開存型大動脈解離に対する上行置換術後の残存する、下肢虚血に対して偽腔に対する開窓術および総腸骨動脈ステント留置術を行った1例
齊藤 輝

- M0-95 経橈骨動脈アプローチ (TRA) による腸骨動脈慢性完全閉塞 (CTO) に対するEVTの臨床的実現可能性
荒川 雅崇
- M0-96 腸骨動脈へのBNS留置後に生じた血管損傷に対して、ステントグラフトで止血行うも難渋し困り果てた一例
川上 拓也
- M0-97 TPTの石灰化病変にstuckして断裂したCROSSERの先端部位を回収できたALIの1例
上床 崇
- M0-98 高度石灰化を伴う膝窩動脈閉塞に対してSuperaステント留置後早期に巨大仮性動脈瘤を生じた一例
久慈 広樹
- M0-99 ステントグラフトによる血管内治療にて良好な経過を辿った、中心静脈カテーテル誤挿入による医原性総頸動脈損傷の一例
本田 雅希

May 27 (Sat) 13:20-14:50

Hall L-2 (4F 405)

L2-8 Under 35 challenge!! #3

Moderators 篠崎 法彦, 田尻 勇太
 Panelists 鈴木 理穂, 岩崎 義弘

- M0-100 Wire-pull-through法とARCADIA法が奏功したJetstream切削症例からみるJetstreamで末梢塞栓を起こさないコツの検討
渡辺 翼
- M0-101 当院で160 病変に使用したCROSSER症例の振り返り
忽滑谷尚仁
- M0-102 浅大腿動脈から近位膝窩動脈の内腔に迫り出す石灰化結節病変に留置したS.M.A.R.T. CONTROL[®]の短期成績
志鎌 拓
- M0-103 ODFI guidedとIVUS guidedを行ったARCADIAについての比較
藤本 圭祐
- M0-104 実臨床におけるIN.PACT DCBとRanger DCBの治療成績の比較検討
～多施設後ろ向き研究ASIGARU registry～
山田 雄大
- M0-105 透析患者の大膝窩動脈疾患におけるDCBの中長期的な有用性の検討
白井 重光
- M0-106 透析患者のFP lesionに対するDCBの2年間の臨床成績
瀬戸長雄介

L2-9 Under 35 challenge!! #4

Moderators 關 秀一, 金子 喜仁
 Panelists 岩田 周耕, 佐藤 裕介

- MO-107 薬剤コーティングバルーン使用後のスローフロー現象を予防する方法についての検討
 香西 祐樹
- MO-108 右外腸骨動脈の高度蛇行を伴う慢性完全閉塞に対してゴア®バイアバーン®VBXバルーン拡張型ステントグラフトを留置し治療した一例
 笠井悠太郎
- MO-109 浅大腿動脈の高度石灰化を伴う慢性完全閉塞病変でWingmanを使用することで全長に渡りintraplaqueを通過し、薬剤溶出性バルーンで治療を終えた一例
 金濱 望
- MO-110 末梢動脈疾患に対する血管内カテーテル治療における当院でのDCB成績の検討
 橋山 倫之
- MO-111 EVTを施行されたLEAD患者における骨塩量指数の低下の心血管下肢イベントへの影響
 板垣 恵
- MO-112 超低用量造影剤を用いた経皮的腎動脈形成術 (PTRA)
 河野 恵

L2-10 Under 35 challenge!! #5

Moderators 土谷 武嗣, 相原 英明
 Panelists 植野 啓介, 遠藤 知秀

- MO-113 左前腕の急性動脈閉塞に対して合併症治療も含めて救肢に成功した一例
 藤原 圭
- MO-114 COVID-19 感染後に亜急性の両側大腿動脈血栓閉塞をきたした一症例
 玉城 優介
- MO-115 血栓性動脈閉塞を伴う重症下肢虚血に対して血栓溶解療法と二期的なEVTが奏功した一例
 真柴 貴久
- MO-116 大腿膝窩部病変に対するZilver PTXステントの長期臨床成績
 村井 篤弥
- MO-117 他院で治療に難渋した発症 6 週間後の中枢型深部静脈血栓症に対し、EVTを行いbail outした 1 例
 尤 礼佳
- MO-118 Swaybackと低用量ピルのコンビネーションが原因と考えられたDVTに対してEVTが奏功した若年女性の一症例
 田島 愛美
- MO-119 当院における、深部静脈血栓症 (DVT) に対する血管内治療 (EVT) の有用性についての検討
 市原 慎也

Under 35 challenge!! (Digital Poster)

May 26 (Fri) -May 28 (Sun)

Digital Poster (4F Lobby)

Under 35 challenge!! (Digital Poster)

MP-17 大腿膝窩動脈病変に対する薬剤溶出性バルーン使用後の動脈解離の予後予測
岸田 登志彦

MP-18 右浅大腿動脈の亜急性ステント内血栓性閉塞に対するFountainカテーテル留置療法
後に感染性仮性動脈瘤を形成した一例
志村 暢紀

MP-19 PCPS抜去の際に外腸骨動脈でのバルーン拡張下にPerclose ProGlideによる止血を試みた
が失敗し、送血管刺入部の血栓閉塞をきたしてしまった一例
坪井 孝文

Closing Ceremony

May 28 (Sun) 13:20-14:10

Hall E (4F the Amphitheater)

Closing Ceremony

メディカルスタッフファカルティリスト

2023年5月8日現在

●プログラム委員

大木 規義

旭中央病院 診療技術局放射線科

倉田 直哉

関西労災病院 臨床工学部

林 愛子

松山赤十字病院 検査部

●ファカルティ

有阪 光恵

東京ベイ・浦安市川医療センター
診療看護師室

石田 啓介

仙台厚生病院
病理診断・臨床検査科

石田 浩之

国際医療福祉大学成田病院
放射線技術部

石橋 智通

筑波メディカルセンター病院
放射線技術科

石橋 理津子

佐賀大学医学部附属病院 形成外科

江崎 龍城

旭中央病院 臨床工学室

江田 茜

TOWN訪問診療所 城南院 看護部

榎 美奈

松山赤十字病院 検査部

川崎 誠

湘生会横浜市東部病院 臨床工学部

五升田 香織

下北沢病院 看護部

小林 大樹

関西労災病院 中央検査部

小宮 由美子

小倉記念病院 検査技師部

斎藤 寛隆

東京ベイ・浦安市川医療センター
救急・カテーテル室

齊藤 雪枝

東京Dタワーhosptital
臨床検査科

坂井 上之

東千葉メディカルセンター 放射線部

榎 聰子

春日部中央総合病院
リハビリテーション科

坂田 久美子

津みなみクリニック 透析室

澤田 望

札幌心臓血管クリニック
臨床工学科

塩入 知子

横浜市立大学附属市民総合医療セ
ンター 放射線部

白樺 貴宏

大阪府済生会中津病院
臨床工学技術部

鈴木 友理

済生会川口総合病院
診療技術部 放射線技術科

高梨 未央

下落合クリニック

高橋 賢也

湘南鎌倉総合病院 臨床工学科

武井 和明

大和成和病院 看護部

武田 直人

下北沢病院 リハビリテーション科

谷本 理香

松山赤十字病院 検査部

千木崎 誠司

福島第一病院 臨床病理検査科

千葉 一幸

東北医科薬科大学附属病院
リハビリテーション部

永井 美枝子

済生会横浜市東部病院 検査部

中田 文

森之宮病院 診療技術部 臨床工学科

根本 一

横浜第一病院
バスキュラーアクセスセンター
生理検査部

人見 泰正

桃仁会病院 臨床工学部

藤元 雄大

東京ベイ・浦安市川医療センター
放射線室

三木 俊

東北大学病院 生理検査センター

溝端 美貴

大阪ろうさい病院 フットケア外来

宮内 綾子

旭中央病院
中央検査科 生理機能検査室

宮内 隆光

松山赤十字病院 検査部

宮川 知也

東京都済生会中央病院 看護部

宮下 善隆

船橋市立医療センター 看護部

矢津 優子

岸和田徳洲会病院 臨床工学部

矢野 晶子

東京西徳洲会病院 透析センター

山本 達也

東京ベイ・浦安市川医療センター
臨床工学科

山本 裕也

大川VA透析クリニック

米川 純

松阪中央総合病院 看護部

和田 敏裕

誠潤会水戸病院
心臓・血管リハビリテーションセンター

Medical Staff Session

May 27 (Sat) 9:00-10:30

Hall F (4F 402)

F6 Medical Staff Session #1

DEBATE 1 術前

Moderators 篠崎 法彦, 林 愛子

Panelists 大木 規義, 中田 文, 宮川 知也

Speakers JET medical program の見どころと挨拶

鈴木 健之

術前検査の王道～ガイドラインから学ぶ～

鈴木 健之

Debate round1 : 申し送りは必要 vs 不要 必要派

斎藤 寛隆

Debate round1 : 申し送りは必要 vs 不要 不要派

武井 和明

これだけは外せない！EVT 術前情報収集

宮下 善隆

スミからスミまで ABI～その①

永井美枝子

SPP 検査のキホン

谷本 理香

SPP 検査のひと工夫

三木 俊

May 27 (Sat) 10:30-12:00

Hall F (4F 402)

F7 Medical Staff Session #2

DEBATE 2 画像

Moderators 山岡 輝年, 石橋 智通

Panelists 川崎 誠, 米川 純, 永井美枝子

Speakers EVT にかかせない画像診断とは？

堀江 和紀

下肢動脈エコー検査でみてること

小宮由美子

Debate round2 : EVT に必要なのは CT vs DUS CT

塩入 知子

Debate round2 : EVT に必要なのは CT vs DUS DUS

林 愛子

Debate round3 : 腎機能低下症例の MRA vs CTA MRA

坂井 上之

Debate round3 : 腎機能低下症例の MRA vs CTA CTA

鈴木 友理

CT 画像を活かした 3D-guidance

大木 規義

F8 Medical Staff Session #3**DEBATE 3 術中 1**

Moderators 佐藤 友保, 宮下 善隆

Panelists 江崎 龍城, 石田 浩之, 小宮由美子

Speakers 腸骨・大腿膝窩動脈 EVT Up to Date

緒方 健二

Debate round4 : EVT 中の鎮静は必要 vs 不要 必要派

江田 茜

Debate round4 : EVT 中の鎮静は必要 vs 不要 不要派

米川 純

EVT における被ばく管理

石橋 智通

Debate round5 : FPA 治療に IVUS は必要 vs 不要 必要派

江崎 龍城

Debate round5 : FPA 治療に IVUS は必要 vs 不要 不要派

倉田 直哉

JET imaging consensus document

中田 文

F9 Medical Staff Session #4**DEBATE 4 術中 2**

Moderators 松原健太郎, 倉田 直哉

Panelists 武井 和明, 塩入 知子, 宮内 綾子

Speakers 膝下動脈 EVT Up to Date

宇都宮 誠

Debate round6 : 膝下領域の撮像法 DA vs DSA DA

石田 浩之

Debate round6 : 膝下領域の撮像法 DA vs DSA DSA

藤元 雄大

JETSTREAM tips

山本 達也

Debate round7 : iliac・SFA 狹窄は 上肢から vs 鼠径から 上肢派

川崎 誠

Debate round7 : iliac・SFA 狹窄は 上肢から vs 鼠径から 鼠経派

高橋 賢也

こうしてます！ウチの止血

宮川 知也

F10 Medical Staff Session #5**DEBATE 5 術後**

Moderators 早川 直樹, 榊 聰子

Panelists 江田 茜, 武田 直人, 三木 俊

Speakers 外科的血行再建から術後療法まで

墨 誠

Debate round8 : LEAD 治療 first はカテカリハか? カテ後からリハ派

榎 聰子

Debate round8 : LEAD 治療 first はカテカリハか? カテよりリハ派

和田 敏裕

スミからスミまで ABI～その②

宮内 綾子

Debate round9 : CLTI 創傷治療期は歩くか歩かないか? 歩く派

武田 直人

Debate round9 : CLTI 創傷治療期は歩くか歩かないか? 歩かない派

千葉 一幸

LEAD 患者の足を守るための装具の選び方

名和 大輔

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall D (3F 302)

D11 IVUS の象 #1

過去—現在

Moderators 植本 恵則, 倉田 直哉

Panelists 艦居 祐輔, 矢津 優子, 川崎 誠

Speakers これまでのまとめ～鬼・虎編～

現在までの IVUS 論文サマリー

—この IVUS 論文を知らずして EVT は語れない—

倉田 直哉

EVT における IVUS の功罪 —Imaging consensus—

艦居 祐輔

この病変 IVUS 必要？！ Case1

この病変 IVUS 必要？！ IVUS 画像提示

この病変 IVUS 必要？！ Case2

この病変 IVUS 必要？！ IVUS 画像提示

矢津 優子

IVUS 使用実態調査 —全国 IVUS 使用の実態—

中田 文

本当に IVUS がいる病変とは —IVUS の費用対効果を考える—

植本 恵則

D12 IVUS の象 #2**現在一未来**

Moderators	上月 周, 中田 文
Panelists	早川 直樹, 倉田 直哉, 江崎 龍城
Speakers	イメージングを使いこなす ちゃんと見えてる？！ Case1 イメージングを使いこなす ちゃんと見えてる？！ Case2 矢津 優子 これからの EVT に必要な IVUS の機能 一医師目線一 早川 直樹 これからの EVT に必要な IVUS の機能 一CE 目線一 江崎 龍城 イメージングの新たな使い道 一デバルキングテバイスをうまく使うために一 倉田 直哉 New イメージングを使いこなせ 一OFDI の取説一 白樺 貴宏 OFDI が活きる症例とは 一この病変には IVUS よりも OFDI だ一
Discussion	これからの IVUS の使い方 中田 文

エコーの旋律×戦慄のエコー in JET2023

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall L-2 (4F 405)

L2-11 エコーの旋律×戦慄のエコー in JET2023～エコーは何をみるべきか？

Moderators	柴田 豪, 林 愛子
Panelists	深井 邦剛, 永井美枝子, 小宮由美子
Speakers	エコーでみる下肢動脈～スミからスミまで 石田 啓介 跛行症状ならココを必ず 宮内 純子 CLTI ならココまで必ず 榎 美奈 急性閉塞ならココだけみといて 深井 邦剛 全て見せますエンドリーク 柴田 豪 エコーでみる表在静脈～スミからスミまで 宮内 隆光

May 28 (Sun) 10:30-12:00

Hall L-2 (4F 405)

L2-12 エコーの旋律×戦慄のエコー in JET2023

Moderators	林 愛子, 小林 大樹
Panelists	谷本 理香, 橋本 拓弥, 宮本 雅仁
Speakers	逆流、不全穿通枝、術前術後評価、余すことなく 千木崎誠司 ちょっと複雑な表在静脈疾患の見方 齊藤 雪枝 苦手克服～治療後再発の見方 手島 英一 VA Echo Live !動脈・静脈の描出 小林 大樹 VA 吻合部・分岐部・合流部の描出テクニックとその意義 山本 裕也 VA 穿刺針の修正方法（短軸でエコーの針がここにある、どう修正する？） 人見 泰正 VA 形態評価にて中級者が陥る落とし穴 根本 一 VA ちょっとマニアックな血管の描出 小林 大樹

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall E (4F the Amphitheater)

E12 日本フットケア・足病医学会合同企画 CLTI 2023 #1 Multi-disciplinary care を学ぶ

Moderators	宇都宮 誠, 大浦 紀彦
Panelists	相原 英明, 木村 雅喜, 三宅 啓介
Speakers	EVT のかバイパスなのか 2023 岡本 慎 血行再建後の創傷治療 最新情報 菊池 守 感染創をどう治療するのか 藤井 美樹 新しいガイドラインを読み解く 福永 匡史 CLTI にリハビリはどこまで可能か? 榎 聰子 在宅医療で CLTI に挑む 木下 幹雄 再発予防のために必要なこと 加藤 拓

May 28 (Sun) 10:30-12:00

Hall E (4F the Amphitheater)

E13 日本フットケア・足病医学会合同企画 CLTI 2023 #2 限界を知り、乗り越える

Moderators	宮本 明, 宇都宮 誠
Panelists	福永 匡史, 畑 陽介, 松原健太郎
Speakers	簡単に No option というんじゃない 安藤 弘 DVA の可能性 滝村 英幸 補助療法を駆使する 佐々木伸也 大切斷も一つのオプションか? 金子 喜仁 ACP と緩和医療 舟橋紗耶華 血管新生は希望の光 田中 里佳 傷とともに生きる 保存的治療は選択肢か? 大浦 紀彦

JET Nursing 血流評価をフットケアに活かす

May 28 (Sun) 9:00-10:30

Hall F (4F 402)

F11 JET Nursing 血流評価をフットケアに活かす

Case discussion with VN

Moderators 丹 通直, 石橋理津子

Panelists 佐藤 友保, 米川 純, 矢野 晶子, 高梨 未央, 有阪 光恵

Speakers 急性期病院におけるフットケア連携

溝端 美貴

症例提示

五升田香織

透析クリニックにおける血流評価

坂田久美子

May 28 (Sun) 10:30-12:00

Hall F (4F 402)

F12 JET Nursing 血流評価をフットケアに活かす

Perfusion evaluation "Hands on"

Moderator 石橋理津子

Trainers ABI

溝端 美貴

SPP

五升田香織

Doppler

坂田久美子

Supporters 矢野 晶子, 高梨 未央

Medical Staff Award

May 27 (Sat) 10:30-12:00

Hall L-1 (4F 403)

L1-7 Medical Staff Award #1

臨床工学 1

Moderators 福永 匡史, 倉田 直哉

Panelists 佐藤 圭, 高橋 賢也

MSO-1 当施設におけるNavvus II カテーテル (ACIST社) の使用経験について
杉山 俊

MSO-2 当院におけるレオカーナ使用経験
鈴木 康浩

MSO-3 エンレスト[®]休薬後にレオカーナを施行した1例
渡部 準也

MSO-4 症例時間短縮に向けてのコメディカル目線から行った対策
福場 健登

MSO-5 EVT物品の管理方法による業務円滑化への取り組み
保田 陽

MSO-6 大腿膝窩動脈領域に対する前拡張後の組織性状がファイナルデバイス選択に与える影響
中田 文

MSO-7 ラプチャードしたバルーンデバイスの牽引強度の検証
小林 寛人

MSO-8 DPC導入病院でのEVTに関わる保険請求のまとめ
原田 拓也

May 27 (Sat) 13:20-14:50

Hall L-1 (4F 403)

L1-8 Medical Staff Award #2

臨床工学 2

Moderators 土谷 武嗣, 川崎 誠

Panelist 山本 達也

MSO-9 大腿膝窩動脈のステント内再狭窄病変に対する薬物溶出性バルーン使用下での末梢血管内治療におけるステント内再々狭窄因子の検討
倉田 直哉

MSO-10 総大腿動脈穿刺部出血性合併症に対するR2Pシステムを用いた止血術の成績についての検討
川崎 誠

MSO-11 大腿膝窩動脈病変に対する薬剤コーティングバルーンの透析および非透析症例での比較
高橋 賢也

MSO-12 大腿膝窩動脈閉塞に対するall intraplaqueとそれ以外のrouteにおける薬剤関連デバイス治療後の1年の一次開存率の比較試験
澤田 望

- MSO-13 石灰化病変に対するJETSTREAMによるアブレーションを安全に施行するための血管モデルを用いた体外実験評価の検討
中曾根由季
- MSO-14 光干渉断層映像法（OFDI）ガイドEVTにおける最適な低分子デキストラノフランフラッシュ用量の検討
白樺 貴宏
- MSO-15 VAIVTにおける頻回短期再狭窄症例に対するDCBの開存成績
長嶺 裕介
- MSO-16 Intervention治療の質と安全性を高める汎用的なアプローチ方法の理論
～短軸エコ下穿刺法における血管刺入部予測法の考案～
北村健太郎

May 27 (Sat) 14:50-16:20

Hall L-1 (4F 403)

L1-9 Medical Staff Award #3**放射線**

Moderators 滝村 英幸, 大木 規義
 Panelists 加藤 太門, 石橋 智通

- MSO-17 膝下閉塞血管に対するエコーガイドEVTの安全性と有効性に関する検討
川端 良拓
- MSO-18 浅大腿動脈の慢性完全閉塞病変に対するロボットを使用したEVUSガイドEVTの有用性の検討
橋本 雅史
- MSO-20 末梢血管インターベンション（EVT）における装置更新に伴う患者被ばく線量の比較
石橋 徹
- MSO-21 EVTにおけるアプローチ方法の違いが被ばく線量、造影剤量に与える影響
井藤 大貴
- MSO-22 炭酸ガス造影下経皮的下肢動脈形成術における撮影条件の工夫
岡 尚求
- MSO-23 2筒式インジェクターによる2段階希釀DSA法が造影剤使用量と手技時間に与える影響
岩崎 敬
- MSO-24 希釀造影剤における臨床画像の血管別評価
石田 耕洋

L1-10 Medical Staff Award #4**検査・看護・リハ**

Moderators 末松 延裕, 永井美枝子
 Panelists 佐々木伸也, 有阪 光恵

- MSO-25 大腿動脈病変における薬剤溶出性ステントEluvia留置後にHalo signを認め、異なる臨床転帰を辿った3例
 宮内 紗子
- MSO-26 レーザ血流計により測定した足趾の脈動幅は透析患者における末梢動脈疾患のスクリーニングに有用である
 斎藤 慎
- MSO-27 計測手法の違いにより生じるPeak Systolic Velocity Ratio (PSVR) 値の差異に関連する因子の検討～TURN-UP studyサブデータ解析～
 小宮由美子
- MSO-28 当院におけるエコーやシャントPTAの現状
 千木崎誠司
- MSO-29 人工血管内シャントによる盗血現象が原因で下肢の虚血を呈した一例
 櫻 美奈
- MSO-30 簡易インソールを用いた当院フットケア外来での試み
 小野田里織
- MSO-31 透析患者の虚血肢における超音波デブリードマンでの創傷管理
 戸田 紗
- MSO-32 膝下領域の血管閉塞は、歩行パフォーマンスを低下させるのか
 森 正志

Medical Staff Award (Digital Poster)**Medical Staff Award (Digital Poster)**

- MSP-1 腎機能悪化、造影剤アレルギーを呈している慢性閉塞性疾患に対して炭酸ガス造影、血管内超音波で治療した一例
 井村 昌弘
- MSP-2 非造影CT画像を用いたCT fusion 3D-Road Map
 川畠 和彦
- MSP-3 EVTにおけるFFRとIVUS画像所見の比較
 舟町 和馬

ランチョンセミナー

May 26 (Fri) 12:10-13:10

Hall A (4F the AIR)

Luncheon Seminar 1 The Role of IN.PACT Admiral

E

- Latest DCB Strategies and Evidence -

[Moderators] Kazushi Urasawa | Tokeidai Memorial Hospital

John Laird | Adventist Health St. Helena

[Speakers] The Role of IN.PACT Admiral in Japan

Masahiko Fujihara | Kishiwada Tokushukai Hospital

DCB Strategy in CTO Lesions with IVUS Imaging

Naoki Hayakawa | Asahi General Hospital

DCB Therapy in Europe: Current Landscape and Future Direction

Marianne Brodmann | Medical University of Graz

[Co-sponsor] Medtronic Japan Co., Ltd.

Program ランチョンセミナー

May 26 (Fri) 12:10-13:10

Hall B (3F 301)

**Luncheon Seminar 2 Current Status Of AFX2 (ActiveSeal) and
Alto (CustomSeal) for AAA Repairs**

E

[Moderator] Kazuo Shimamura | Osaka University Graduate School of Medicine

[Speakers] Performance & Value of AFX2 Endografts with the Mid-term outcomes

Yoshiaki Saito | Hirosaki University Graduate School of Medicine

Alto: Engineered for Broader Patient Applicability

Sonya Noor | Gates Vascular Institute - University at Buffalo

[Co-sponsor] Japan Lifeline Co., Ltd.

May 26 (Fri) 12:10-13:10

Hall C (4F 401)

**ランチョンセミナー 3 データ更新が止まらない、ゴア®バイアバーン®
VBX バルーン拡張型ステントグラフト**

【座長】 仲間 達也 | 東京ベイ・浦安市川医療センター

【演者】 VBX ステントグラフト 長期成績最新版

山岡 輝年 | 松山赤十字病院

AVOCADO II

鶴居 祐輔 | 小倉記念病院

【症例提示】 菊地 信介 | 旭川医科大学

【共催】日本ゴア合同会社

ランチョンセミナー 4 60分でわかる下肢静脈瘤治療に関する理由と始め方

【座長】 孟 真 | 横浜南共済病院

横井 宏佳 | 福岡山王病院

【演者】 下肢静脈瘤治療 How to start

川崎 大三 | 森之宮病院

静脈診療の現在地

今井 崇裕 | 西の京病院

【共催】 コヴィディエンジャパン株式会社

ランチョンセミナー 5 SFA Update!

【座長】 安藤 弘 | 春日部中央総合病院

【演者】 High Pressure? or Atherectomy?

Jetstream のポテンシャルをどう活かすか

曾我 芳光 | 小倉記念病院

DCB? or DES? Part.1

仮想 DISFORM Study の結果から

山田 雄大 | 中部国際医療センター

DCB? or DES? Part.2

自施設データを踏まえてリアルに考える

原口 拓也 | 札幌心臓血管クリニック

【共催】 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 6 大腿膝窩動脈の特殊性と治療戦略 - 新しい可能性 -

【座長】 南都 伸介 | 西宮市立中央病院

【演者】 膝窩動脈領域の non stenting zone は存在するか：ヘリカルステントの可能性

保科 克行 | 東京大学医学部附属病院

薬剤世代における次世代ナイチノールステントの役割

飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院

【共催】 大塚メディカルデバイス株式会社

May 27 (Sat) 12:10-13:10

Hall A (4F the AIR)

Luncheon Seminar 7 How to Maximize the Potential of SFA EVT

E

[Moderator] Masato Nakamura | Toho University Ohashi Medical Center

[Speakers] Latest Findings in Peripheral Artery Pathology

Sho Torii | Tokai University Hospital

Keys to Improving SFA EVT Outcomes

Osamu Iida | Osaka Police Hospital / Daini Osaka Police Hospital

[Co-sponsor] Boston Scientific Japan K.K.

May 27 (Sat) 12:10-13:10

Hall B (3F 301)

ランチョンセミナー 8 IN.PACT AV のリアルワールドデータに迫る！

[座長] 小川 智也 | 埼玉医科大学総合医療センター

藤原 昌彦 | 岸和田徳洲会病院

[演者] Restore Study

藤村 直樹 | 東京都済生会中央病院

内膜肥厚がない病変にも DCB は効くのか？

末光浩太郎 | 関西ろうさい病院

[共催] 日本メドトロニック株式会社

May 27 (Sat) 12:10-13:10

Hall C (4F 401)

Luncheon Seminar 9 Propelling EVT into the Future with RADIANCE

J/E

~ Taking Peripheral New Places ~

[Moderator] Kenji Suzuki | Tokyo Saiseikai Central Hospital

[Speakers] George Adams | UNC Health Rex

Daizo Kawasaki | Morinomiya Hospital

Yoshimitsu Soga | Kokura Memorial Hospital

[Co-sponsor] Cordis Japan G.K.

**ランチョンセミナー 10 コンフォーマブル ゴア® TAG® ステントグラフト /
ゴア® エクスクルーダー® コンフォーマブル
AAA ステントグラフト アクティブコントロールシステム使用経験
～ゴア® アクティブコントロールシステムを使いこなす～**

【座 長】 宿澤 考太 | 東京慈恵会医科大学

【演 著】 齊藤 良明 | 弘前大学医学部附属病院
川尻 英長 | 京都府立医科大学

【共催】日本ゴア合同会社

ランチョンセミナー 11 RDN Up-to-date

【座 長】 青木 二朗 | 三井記念病院

【演 著】 児玉 隆秀 | 虎の門病院

【共催】大塚メディカルデバイス株式会社

ランチョンセミナー 12 ~ Daily Use for IVUS, How to use OFDI? ~

【座 長】 舛居 祐輔 | 小倉記念病院

毛利 晋輔 | 済生会横浜市東部病院

【演 著】 仲間 達也 | 東京ベイ・浦安市川医療センター
鳥羽 敬義 | 神戸大学医学部附属病院
倉田 直哉 | 関西ろうさい病院

【共催】テルモ株式会社

ランチョンセミナー 13 JET 特別企画 我々の進んでいる道は正しいのか スペシャルゲストに問う

【座長】 飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院

【演者】 いま学会は必要なのか

藤原 昌彦 | 岸和田徳洲会病院

あくまでも臨床にこだわる理由とは

川崎 大三 | 森之宮病院

なぜエビデンスを出し続けるのか

飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院

【共催】 コーディスジャパン合同会社

コーヒーブレイクセミナー

May 26 (Fri) 15:15-15:45

Hall A (4F the AIR)

Coffee Break Seminar 1 New Era of SFA EVT

E

-A New Option for Heavily Calcified Lesions-

【Moderator】 Hiroyoshi Yokoi | Fukuoka Sanno Hospital

【Speaker】 Tatsuya Nakama | Tokyo Bay Medical Center

【Co-sponsor】 Boston Scientific Japan K.K.

May 26 (Fri) 15:15-15:45

Hall B (3F 301)

Coffee Break Seminar 2 Sac Regression and long-term durability of

E

Endurant Stent Graft System

【Moderator】 Atsushi Aoki | Showa University

【Speaker】 Apostolos K. Tassiopoulos | Stony Brook University Medical Center

【Co-sponsor】 Medtronic Japan Co., Ltd.

コーヒーブレイクセミナー 3 TRI × RADIANZ**～メディカルスタッフと医師が語る、EVT の新パラダイム～**

【座長】 山岡 輝年 | 松山赤十字病院

市橋 敬 | 一宮西病院

【演者】 澤田 望 | 札幌心臓血管クリニック

矢津 優子 | 岸和田徳洲会病院

倉田 直哉 | 関西ろうさい病院

【共催】 コーディスジャパン合同会社

Coffee Break Seminar 4**E**

【Moderators】 孟 真 | 横浜南共済病院

安齋 均 | 太田記念病院

【Speaker】 Current State and Future Prospects

Patrick Muck | Good Samaritan Hospital

【Co-sponsor】 末梢血管血栓吸引・除去デバイス関連学会協議会

コーヒーブレイクセミナー 5 —NSE PTA—

【座長】 飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院

【演者】 東京ベイ 小島の NSE PTA の使いどころ 考えてみた！！

小島 俊輔 | 東京ベイ・浦安市川医療センター

血栓絡みの SFA-CTO をステントレスで治療する方法

川崎 大三 | 森之宮病院

【共催】 ニプロ株式会社

コーヒーブレイクセミナー 6 複雑病変に対する新たな選択肢**～オセアナス＆サージェント～**

【座長】 藤原 昌彦 | 岸和田徳洲会病院

【演者】 飛田 一樹 | 湘南鎌倉総合病院

曾我 芳光 | 小倉記念病院

【共催】 株式会社メディコスヒラタ

**Coffee Break Seminar 7 New possibilities in endovascular intervention
(From aorta – peripheral)
～ASAHI New EVT Guide Wire SUOH 03 PV～**

E

[Moderator] Yoshinori Tsubakimoto | Japanese Red Cross Kyoto Daini Hospital

[Speaker] Osamu Iida | Osaka Police Hospital / Daini Osaka Police Hospital

[Panelist] Shigeo Ichihashi | Nara Medical University

[Co-sponsor] ASAHI INTECC J-sales, INC.

コーヒーブレイクセミナー 8 吸引カテーテルはこう使う！

【座長】 若林 正則 | 望星第一クリニック

【演者】 シヤント閉塞に対するエコ一ト PTA・Thrombuster II の使い方

安田 透 | 池田バスキュラーアクセス・透析・内科

【共催】株式会社カネカメディックス

コーヒーブレイクセミナー 9 実臨床における長期成績から SFA 治療を考える

【座長】 鈴木 健之 | 東京都済生会中央病院

【演者】 辻本 誠長 | 札幌心臓血管クリニック

柴田 豪 | 札幌医科大学

【コメントーター】 飛田 一樹 | 湘南鎌倉総合病院

原口 拓也 | 札幌心臓血管クリニック

【共催】クックメディカルジャパン合同会社

コーヒーブレイクセミナー 10 ステントグラフト治療におけるコイル塞栓術の役割と手技の Tips

【座長】 島村 和男 | 大阪大学医学部附属病院

【演者】 金子健二郎 | 新百合ヶ丘総合病院

【共催】ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

May 27 (Sat) 16:25-16:55

Hall E (4F the Amphitheater)

コーヒーブレイクセミナー 11 下肢血行再建術後の至適薬物療法を再考する

【座長】 中村 正人 | 東邦大学医療センター大橋病院

【演者】 曽我 芳光 | 小倉記念病院

【共催】 バイエル薬品株式会社

May 27 (Sat) 16:25-16:55

Hall F (4F 402)

コーヒーブレイクセミナー 12

【座長】 松原健太郎 | 慶應義塾大学

【演者】 経験症例を踏まえたコラテジエン対象症例の選定と投与方法
木村 雅喜 | きむら心臓血管内科クリニック

【共催】 田辺三菱製薬株式会社

May 27 (Sat) 16:25-16:55

Hall G (4F 404)

コーヒーブレイクセミナー 13 CLTIに対する治療戦略

～カテーテル治療でどこまでできるか～

【座長】 朴澤 耕治 | 新東京病院

【演者】 島 裕樹 | 倉敷中央病院

【共催】 オーバスネイチャーメディカル株式会社

サテライトシンポジウム

May 26 (Fri) 18:50-19:30

Hall A (4F the AIR)

サテライトシンポジウム 1 All about Jetstream!

【座長】 曽我 芳光 | 小倉記念病院

【コメンテーター】 浦澤 一史 | 時計台記念病院

安藤 弘 | 春日部中央総合病院

【演者】 Jetstream の特性と適正使用
飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院
Jetstream の使用経験からわかつてきしたこと

藤原 昌彦 | 岸和田徳洲会病院

【共催】 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

May 26 (Fri) 18:50-19:30

Hall B (3F 301)

サテライトシンポジウム 2 あなたの EVT テクニックの引き出し見せてください！ CTO 編

【座長】 早川 直樹 | 国保旭中央病院

【演者】 飛田 一樹 | 湘南鎌倉総合病院

原口 拓也 | 医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック

早川 直樹 | 国保旭中央病院

【共催】 株式会社カネカメディックス

May 26 (Fri) 18:50-19:30

Hall C (4F 401)

サテライトシンポジウム 3 2023年はこう使う。

SFA 複雑病変に対するゴア®バイアーン®ステントグラフト

【座長】 末松 延裕 | 福岡県済生会福岡総合病院

【演者】 SFA 長区域病変の治療選択への見解

藤村 直樹 | 東京都済生会中央病院

バイアーン®ステントグラフト留置後の再治療に対する見解

畠 陽介 | 関西ろうさい病院

【討論者】 仲間 達也 | 東京ベイ・浦安市川医療センター

【共催】 日本ゴア合同会社

May 27 (Sat) 18:30-19:30

Hall A (4F the AIR)

サテライトシンポジウム 4 大きなカブは抜けたのか？ Turnip 研究の詳細を知る！

【座長】 大木 隆生 | 東京慈恵会医科大学

【演者】 曽我 芳光 | 小倉記念病院

山内 靖隆 | 総合高津中央病院

【コメンテーター】 川崎 大三 | 森之宮病院

藤原 昌彦 | 岸和田徳洲会病院

【共催】 株式会社カネカメディックス

サテライトシンポジウム 5 Deep dive! COMFORT Registry

【座長】 中村 正人 | 東邦大学医療センター大橋病院

飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院

【演者】 Lesson from the COMFORT registry

中村 正人 | 東邦大学医療センター大橋病院

TRAの巻

堀江 和紀 | 仙台厚生病院

R2Pでここまでできる。～R2Pを知り、可能性を追求する～

早川 直樹 | 国保旭中央病院

【ディスカッサー】 高原 充佳 | 大阪大学大学院医学系研究科

篠崎 法彦 | 佐久市立国保浅間総合病院

【共催】 テルモ株式会社

Satellite Symposium 6 A Solution for ALI Treatment with Penumbra Indigo System



【Moderators】 Nobuyoshi Azuma | Asahikawa Medical University

Hitoshi Anzai | Ota Memorial Hospital

【Speakers】 Patrick Muck | Good Samaritan Hospital

James F. Benenati | Penumbra Inc.

Hideaki Obara | Keio University

【Co-sponsor】 ASAHI INTECC J-sales, INC.

モーニングセミナー

モーニングセミナー 1 VAI VT 新時代に新しい変化をもたらしたステントグラフトの価値とは？

【座長】 笹川 成 | 横浜第一病院

【演者】 ステントグラフトの価値～エビデンスと自施設での印象～

森本 章 | 愛仁会井上病院

どのタイミングで使用しますか？ゴア®バイアバーン®ステントグラフト

宮本 雅仁 | 横浜第一病院

【共催】 日本ゴア合同会社

May 27 (Sat) 8:00-9:00

Hall C (4F 401)

Morning Seminar 2 Optimal vessel prep with Ultrascore™ scoring PTA balloon and new Lutonix™ RX 300mm DCB launch

E

【Moderator】 Daizo Kawasaki | Morinomiya Hospital

【Speakers】 Optimal vessel prep using Ultrascore™ and finalization using 300mm DCB, learning from actual clinical practice

Kazuki Tobita | Shonan Kamakura General Hospital

Treatment Strategies for Femoropopliteal Artery Lesions with Long scoring Balloon and Long DCB in Europe

Marco Manzi | Policlinico Abano Terme

Mid-Term Efficacy of Lutonix™ RX with Optimal Vessel Prep at Our Hospital

Yusuke Tomoi | Kokura Memorial Hospital

【Co-sponsor】 Medicon, Inc.

May 27 (Sat) 8:00-9:00

Hall D (3F 302)

モーニングセミナー 3 Things you can achieve with 6F CROSSROADS® MG

【座長】 早川 直樹 | 国保旭中央病院

【演者】 ここまで出来るぞ対側アプローチ！～僕らのコントラスピリッツ～

市橋 敬 | 一宮西病院

Go away Oh Yes

原口 拓也 | 札幌心臓血管クリニック

【共催】 ニブロ株式会社

May 28 (Sun) 8:00-9:00

Hall A (4F the AIR)

モーニングセミナー 4 Master the Cross 2023

—EVT 新時代のガイドワイヤークロッシング—

【座長】 丹 通直 | 時計台記念病院

【コメンテーター】 浦澤 一史 | 時計台記念病院

【演者】 Atherectomy 時代の石灰化病変通過戦略

飛田 一樹 | 湘南鎌倉総合病院

The Back-up! 病変通過成功のためシステム

滝村 英幸 | 総合東京病院

Jupiter をシリーズとして使いこなす

早川 直樹 | 国保旭中央病院

【共催】 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

モーニングセミナー 5 私の EVT 人生の転機となった症例 Vol.2

【座長】 飯田 修 | 大阪警察病院 / 第二大阪警察病院

【演者】 仲間 達也 | 東京ベイ・浦安市川医療センター

藤村 直樹 | 東京都済生会中央病院

藤原 昌彦 | 岸和田徳洲会病院

【共催】キヤノンメディカルシステムズ株式会社

What science can do

血液中を循環する
がんDNAの微小断片

血中循環腫瘍DNA

アストラゼネカは、循環血中の腫瘍DNA(ctDNA)をがん診断に利用する方法をいち早く開発しました。腫瘍から遊離し血中を循環するDNAの断片を解析することによって、患者さんの腫瘍に関する遺伝子情報が解析されます。アストラゼネカは、このように患者さんの身体に痛みや苦痛を与えることなく、医療従事者が正しい治療法を選択できるよう取り組んでいます。

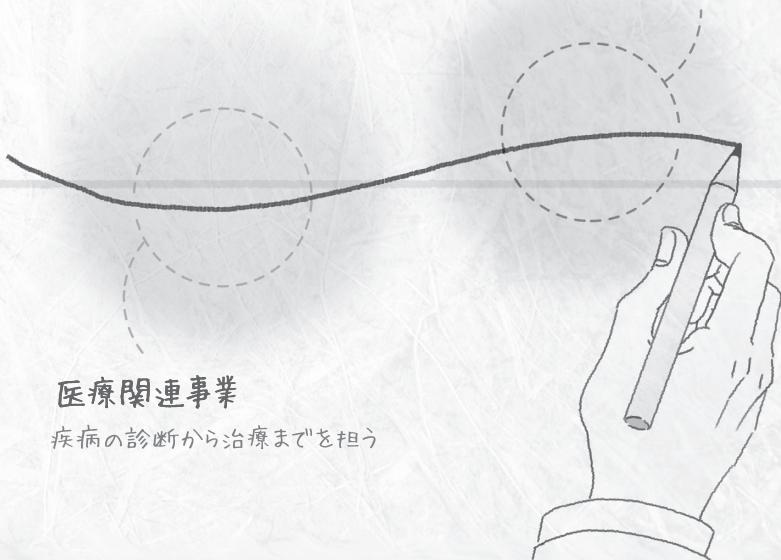
Otsuka-people creating new products for better health worldwide

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します

ニュートラシティカルズ関連事業

日々の健康維持・増進をサポートする



医療関連事業

疾病的診断から治療までを担う



Otsuka 大塚製薬

<https://www.otsuka.co.jp/>

Treno³⁵

PTA BALLOON CATHETER



ロングテーパーチップ効果による
追従性と拡張力(24atm)の
ハイパフォーマンスを実現

■販売名:クアッドプロ
■承認番号:30300BZX00170000

Trackability

High Pressure

Pushability

【製造販売元】

USCIジャパン株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3丁目28番地

【販売元】

PIOLAX

株式会社 パイオラックス メディカル デバイス
〒245-0053 神奈川県横浜市戸塚区上矢部町2265-3



末梢用ガイディングシースキット

Parent Plus®

Medikit Peripheral Guiding Sheath Kit

変わらぬ性能で

安定したEVT手技をサポートします

6Fr

4.5Fr

3Fr

末梢用ガイディングシースキット

Parent® Select

Medikit Peripheral Guiding Sheath Kit

血管内治療ストラテジーに適した

ガイディングシースサイズを“Select”する

5Fr → **内径
0.082"**

Parent® Select 5082

内径
0.075" ← 4.5Fr

Parent® Select 4575

末梢用ガイディングシースキット

Parent Cross®

Medikit Peripheral Guiding Sheath Kit

デバイス通過性と末梢到達性にフォーカスした
ガイディングシースの選択肢

7Fr

6Fr

承認番号:23100BZX00050000



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201

製造販売元: 東鶴メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6 TEL.0982-53-8000

営業所/東京・札幌・仙台・埼玉・千葉・八王子・横浜・金沢・名古屋・京都・関西・神戸・広島・松山・福岡・宮崎

流通倉庫/宮崎県日向市・千葉県佐倉市

<http://www.medikit.co.jp/> <http://www.togomedikit.co.jp/>

Choose the Best for Your Patient

JETSTREAM™

Atherectomy System



RANGER™

Drug-Coated Balloon



ELUVIA™

Drug-Eluting Vascular Stent System



販売名：ジェットストリーム アテレクトミー システム
医療機器承認番号：30300BZX00287000

併用医療機器販売名：スルーウェイガイドワイヤー[®]
併用医療機器承認番号：21600BZY00199000

販売名：レンジャー薬剤溶出型末梢血管用ステント
医療機器承認番号：30300BZX00033000

販売名：エルビア薬剤溶出型末梢血管用ステント
医療機器承認番号：23000BZX00374000



Jetstream™は、浅大腿動脈及び/又は近位膝窩動脈において、重度石灰化病変を有し、薬剤塗布型バルーン治療の前拡張に使用する経皮的血管形成術用バルーンカテーテルが不通過又は拡張困難な病変（ステント内を除く。）に対し、固いアテローム塊や狭窄病変を除去することで、前拡張を容易にする目的で使用する。

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。

©2023 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

All trademarks are the property of their respective owners.

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークスクウェア
www.bostonscientific.jp

PI-1536201-AA